

寒川町アンケート調査報告書

令和 2 年 6 月
寒川町

目 次

人口減少対策のためのアンケート調査の概要	2
回答者の属性	3
F1.性別	3
F2.年齢	3
F3.お住まいの地区	4
F4.就業の状況	4
F5.家族形態	5
F6.世帯年収	5
調査結果	6
(1) 居住年数	6
(2) 転入前の居住地域	8
(3) 寒川町に転入したきっかけ	10
(4) 転入の際の他の検討市区町村	12
(5) 転居先を決める際に考慮する、重要な環境	14
(6) 寒川町の町にこれからも住みつづけたいと思うか	16
(7) 転出の際の検討市区町村	20
(8) 結婚しているか	23
(9) 現在、結婚していない理由	25
(10) 結婚に関する考え	27
(11) 何歳ぐらいまでに結婚したいか	29
(12) 現在の子どもの数、今後の子どもの予定数、理想的な子どもの数	31
(13) もっと子どもを産まない理由	32
(14) 出生率が低下している主な要因	34
(15) 重要度・満足度	36
(16) 自由記述	40
窓口アンケート調査の概要	57
回答者（転入者）の属性	58
F1.性別	58
F2.年齢	59
F3.結婚している夫婦の就業状況	60
F4.家族構成	61
F5.世帯年収	61
調査結果	62
(1) 寒川町に転入したきっかけ	62

（２）寒川町を選んだ理由	63
（３）寒川町のブランドマークやスローガン	64
（４）転入前事前調査	66
（５）寒川町のイメージ	67
（６）転入後の住居について	69
（７）転入以前の住所地	70
（８）前住居地の行政に対する意見	71
回答者（転出者）の属性	72
F1.性別	72
F2.年齢	72
F3.家族構成	73
調査結果	74
（１） 転出先の居住地域	74
（２） 寒川町からの転出理由	75
（３） 転出の際の優先事項	76

第Ⅰ部 人口減少対策のためのアンケート調査

人口減少対策のためのアンケート調査の概要

1) 調査の目的

少子高齢化・人口減少が進む中で、寒川町の人口等の現状分析を基にした「寒川町人口ビジョン」の改訂を進めています。

この改訂にあたり、結婚・出産に関する考え等を寒川町民の皆さまの意識を調査し、寒川町民の皆さまの実情に即した検討を進める必要があります。このたび、「人口減少対策のためのアンケート」を実施することとしました。

2) 調査対象・抽出方法

寒川町在住の18歳から49歳までの方の中から無作為抽出で選んだ2,000名の方にアンケート票を送付しました。(抽出基準日：令和2年4月1日現在)

3) 調査内容

「寒川町の居住意向」、「結婚・子育てに対する考え方」に関する調査を実施しました。

4) 調査報告書

① 調査方法：町民アンケートを郵送により配布・回収

② 調査期間：令和2年4月～5月

5) 回収結果

回収件数：730件（回収率36.5%）

抽出数 (a)	回収数 (b)	有効回答数 (c)	有効回答率 (c/a)
2,000	730	728	36.4%

6) 留意点

① 結果は百分率で表示しました。百分率は小数点第2位を四捨五入したため、比率の合計が100%と一致しない場合があります。

② 複数回答可の質問の百分率の合計は、100%を超えます。

③ 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。

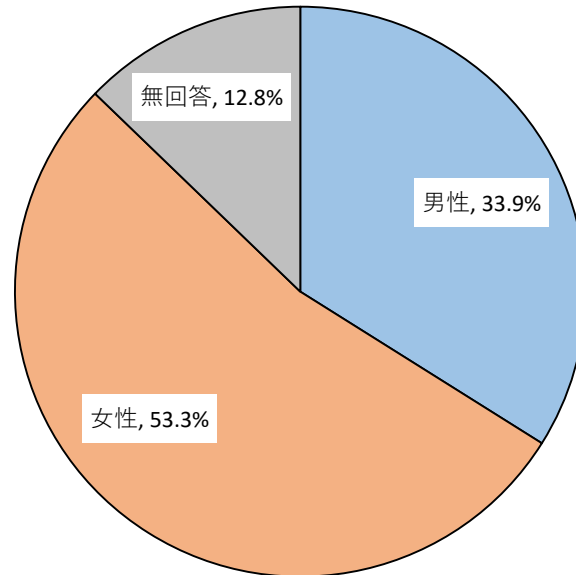
④ 各質問のサンプル数は「n＝」で表しています。

7) クロス集計の割合は無回答等を除いた有効回答数を分母としています。

回答者の属性

F1.性別

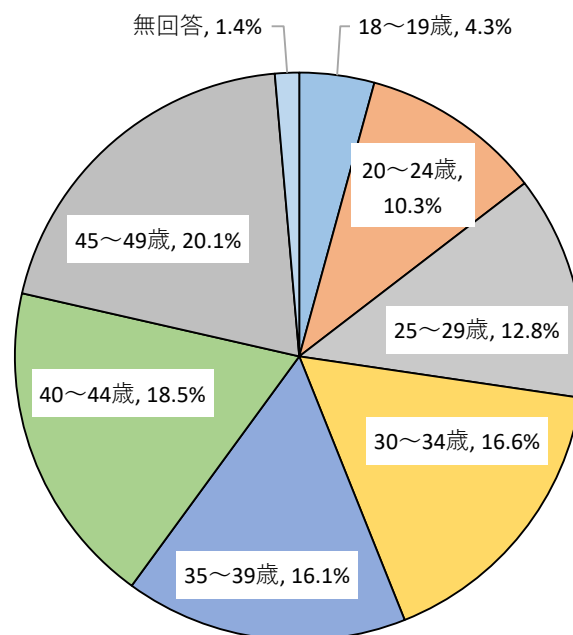
性別でみると、「女性」が 53.3 ポイントで、「男性」が 33.9 ポイントです。



n=728

F2.年齢

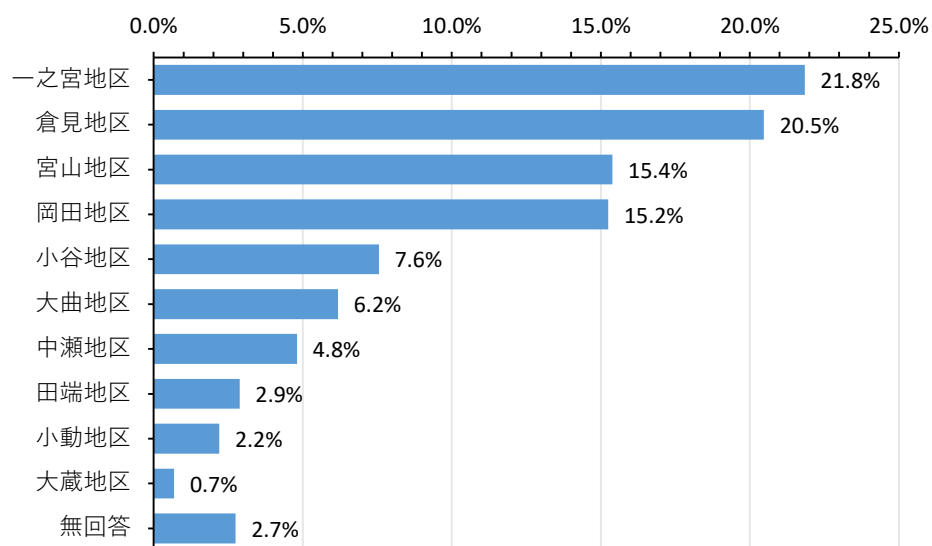
年齢別にみると、「45～49 歳」が 20.1 ポイントと最も多く、次いで「40～44 歳」が 18.5 ポイント、「30～34 歳」が 16.6 ポイントと続いています。



n=728

F3.お住まいの地区

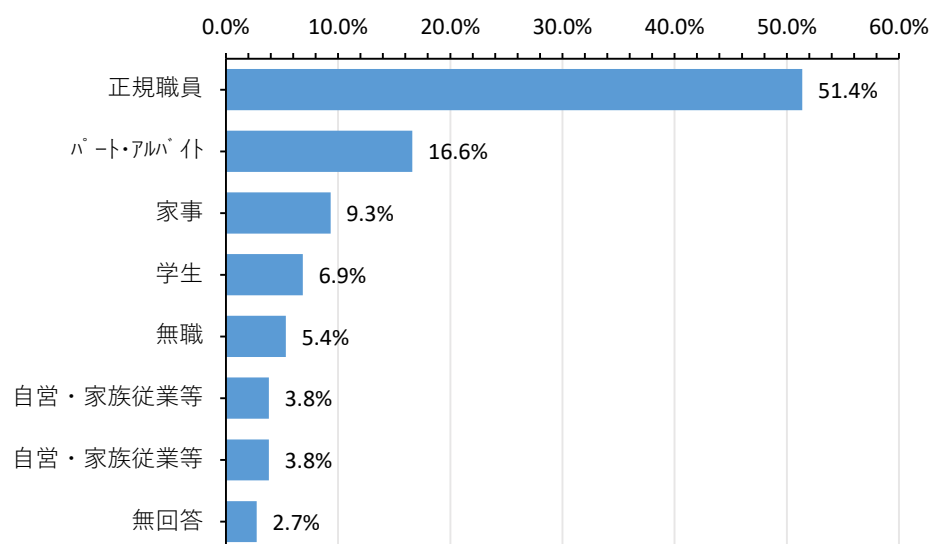
居住地区別にみると、「一之宮地区」が 21.8 ポイントと最も多く、次いで「倉見地区」が 20.5 ポイント、「宮山地区」が 15.4 ポイントと続いています。



n=728

F4.就業の状況

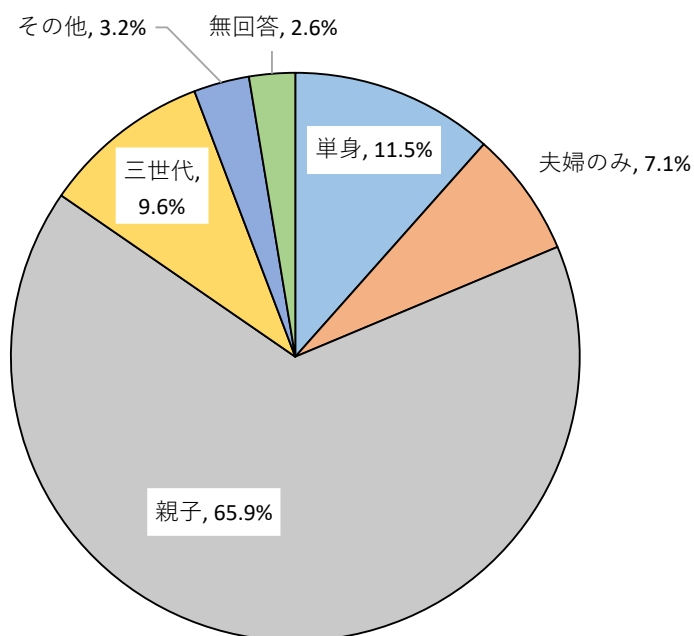
職業別にみると、「正規職員」が 51.4 ポイントと最も多く、次いで「パート・アルバイト」が 16.6 ポイント、「家事」が 9.3 ポイントと続いています。



n=728

F5.家族形態

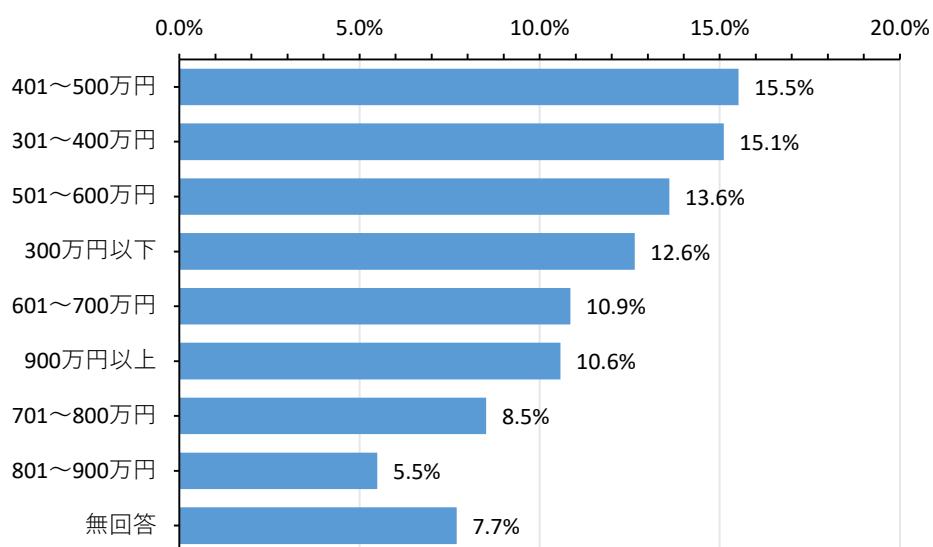
家族形態別にみると、「親子」が 65.9 ポイントと最も多く、次いで「単身」が 11.5 ポイント、「三世代」が 9.6 ポイントと続いています。



n=728

F6.世帯年収

世帯年収別にみると、「401~500 万円」が 15.5 ポイントと最も多く、「301~400 万円」が 15.1 ポイント、「501~600 万円」が 13.6 ポイントと続いています。

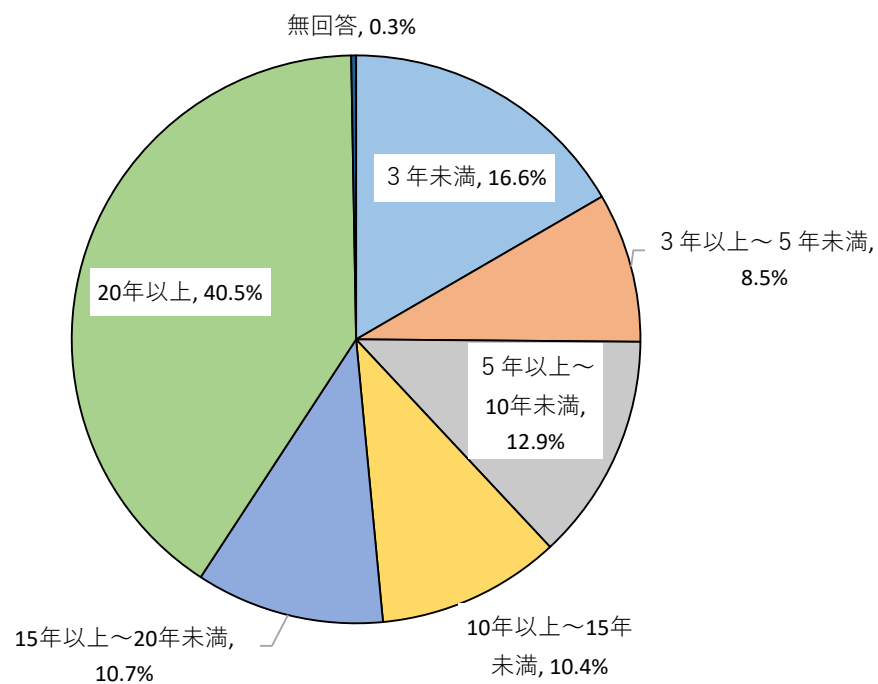


n=728

調査結果

(1) 居住年数

問1. あなたは、寒川町に住みはじめて何年になりますか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

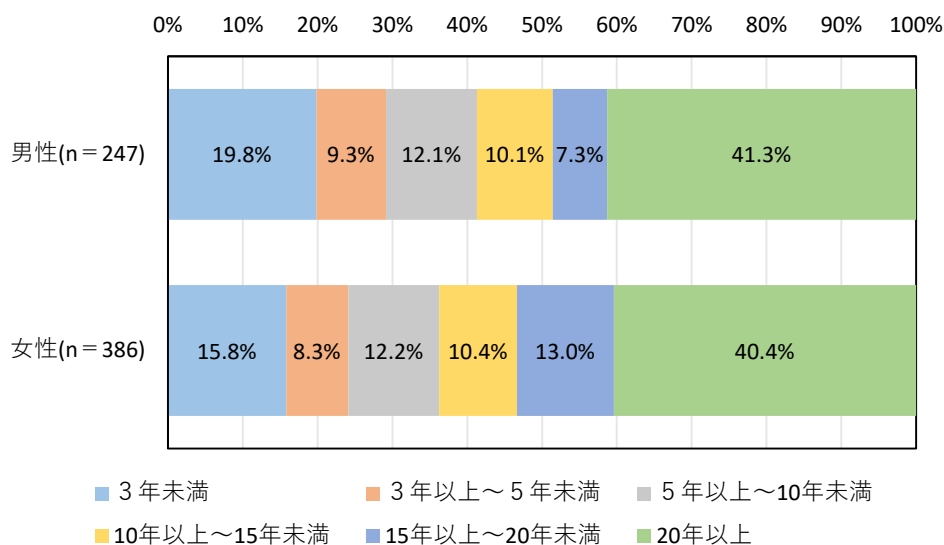


選択肢	回答数	割合
3年未満	121	16.6%
3年以上～5年未満	62	8.5%
5年以上～10年未満	94	12.9%
10年以上～15年未満	76	10.4%
15年以上～20年未満	78	10.7%
20年以上	295	40.5%
無回答	2	0.3%
回答者数	728	100.0%

「20年以上」と回答した人が40.5ポイントと最も多く、次いで「3年未満」が16.6ポイント、「5年以上～10年未満」が12.9ポイントと続いています。

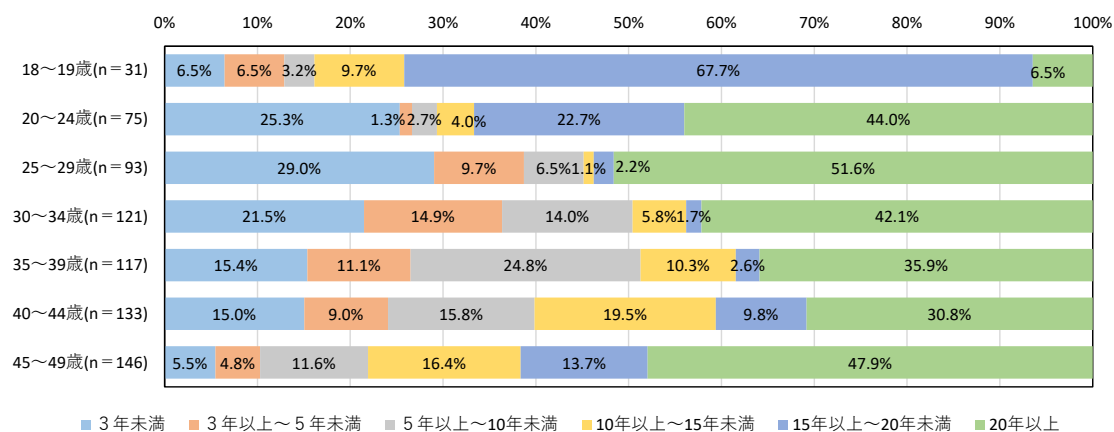
15年以上居住している人が全体の5割程度であることがわかります。

【性別】



性別でみると、居住年数の長さは、「15年以上～20年未満」が女性の方が5.7ポイント高いです。

【年齢】

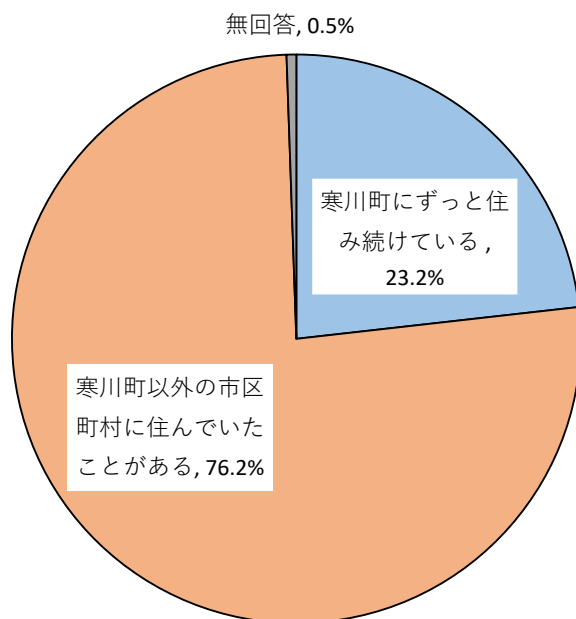


年齢別でみると、25～29歳の「3年未満」割合は29.0ポイントと最も多く、各年代の中で転入割合が高いことが考えられます。

「20年以上」の割合をみると、25～29歳が最も高く、40～44歳までは減少傾向がみられるため、この間に転出する人が多いと考えられます。

（２）転入前の居住地域

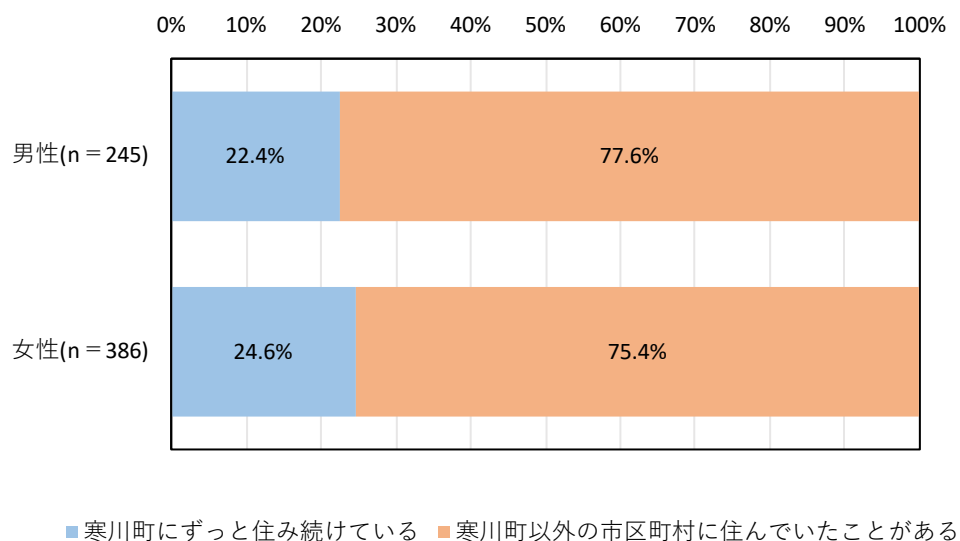
問２．寒川町以外に住んでいたまちはありますか。あてはまるものを１つ選び、○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
寒川町にずっと住み続けている	169	23.2%
寒川町以外の市区町村に住んでいたことがある	555	76.2%
無回答	4	0.5%
回答者数	728	100.0%

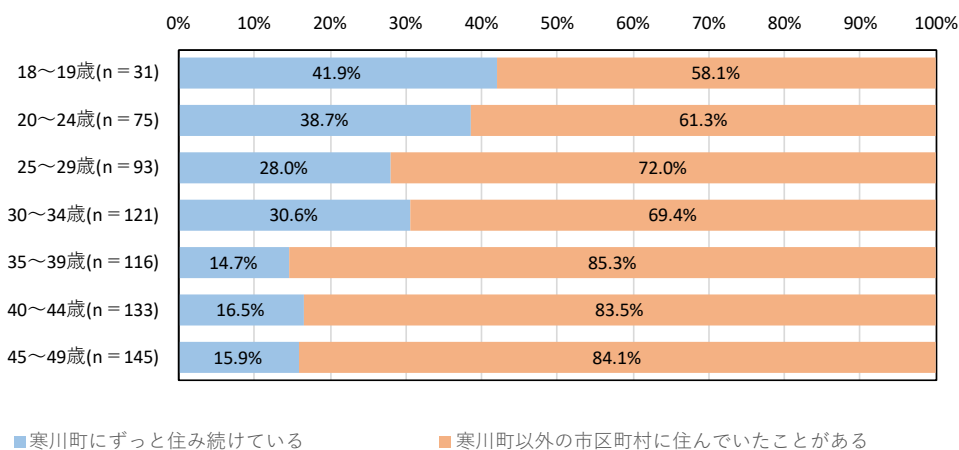
「寒川町以外の市区町村に住んでいたことがある」と回答した人が 76.2 ポイントと大多数の人が転入者であることがわかります。

【性別】



性別でみると、転入者の特徴として男女間で大きな差はみられません。

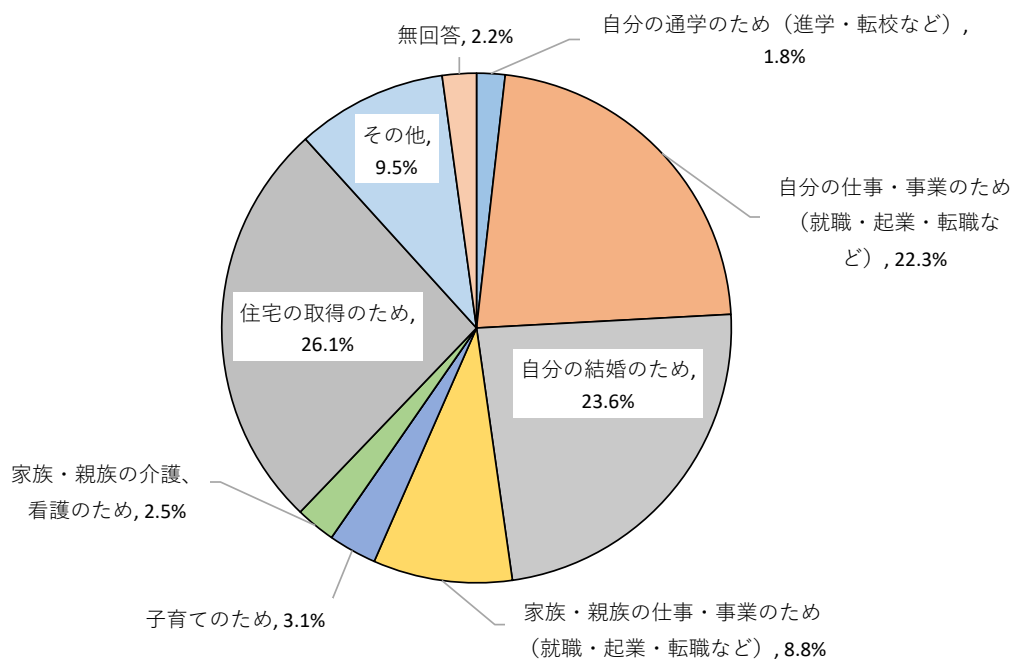
【年齢】



年齢別でみると、35～49歳では80%以上が、寒川町以外の市区町村に住んでいたことがあると回答しています。

(3) 寒川町に転入したきっかけ

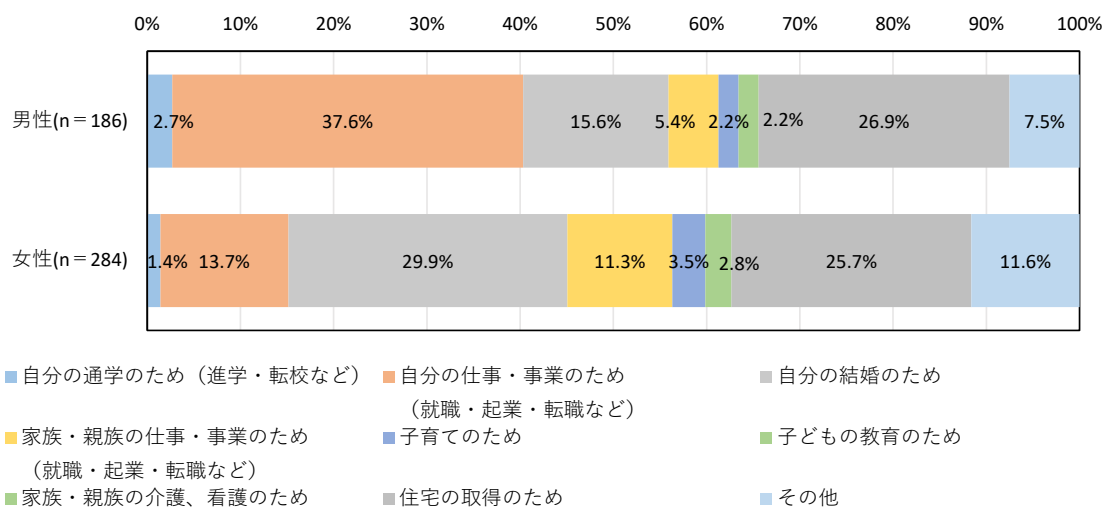
【問2-1】問2で「2」と回答をした方のみお答えください。寒川町に転入したきっかけについて、1つ選び、○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
自分の通学のため（進学・転校など）	10	1.8%
自分の仕事・事業のため（就職・起業・転職など）	124	22.3%
自分の結婚のため	131	23.6%
家族・親族の仕事・事業のため（就職・起業・転職など）	49	8.8%
子育てのため	17	3.1%
子どもの教育のため	0	0.0%
家族・親族の介護、看護のため	14	2.5%
住宅の取得のため	145	26.1%
その他	53	9.5%
無回答	12	2.2%
回答者数	555	100.0%

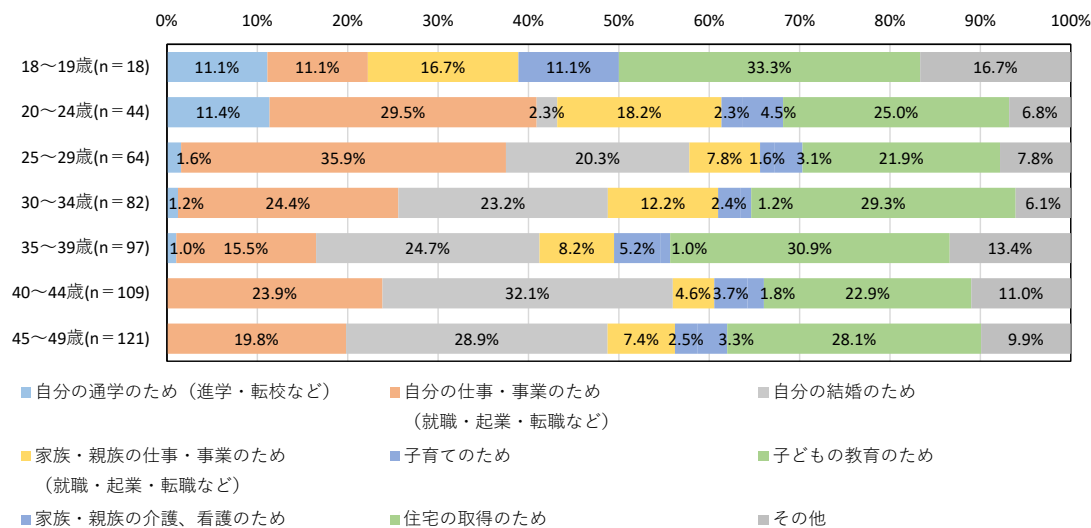
「住宅の取得のため」と回答した人が26.1ポイントと最も多く、次いで「自分の結婚のため」が23.6ポイント、「自分の仕事・事業のため（就職・起業・転職など）」が22.3ポイントと続いています。

【性別】



性別でみると転入したきっかけは、男性は「自分の仕事・事業のため」が 37.6 ポイントと高い一方で、女性は「自分の結婚のため」が 29.9 ポイントと最も高いです。男女ともに高いのは「住宅の取得のため」となっています。

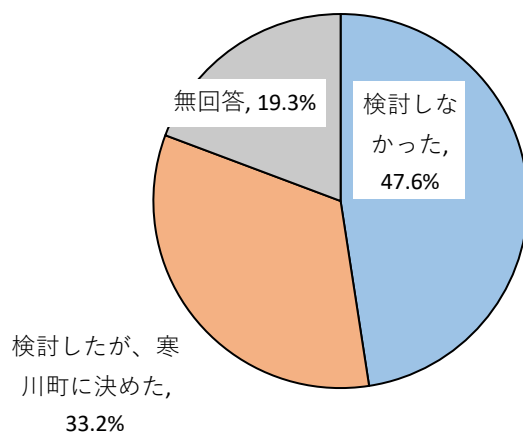
【年齡】



年齢別でみると、「自分の仕事・事業のため」と回答している人は20～29歳が比較的多く、「住宅の取得のため」と回答している人は30～39歳が多いことがわかります。

(4) 転入の際の他の検討市区町村

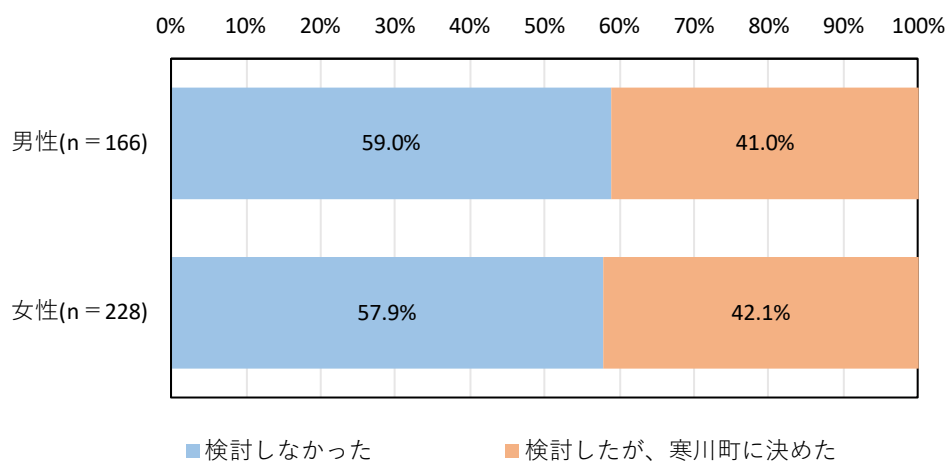
【問2-2】問2で「2」と回答をした方のみお答えください。転入される際、寒川町以外の市区町村を検討しましたか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
検討しなかった	264	47.6%
検討したが、寒川町に決めた	184	33.2%
無回答	107	19.3%
回答者数	555	100.0%

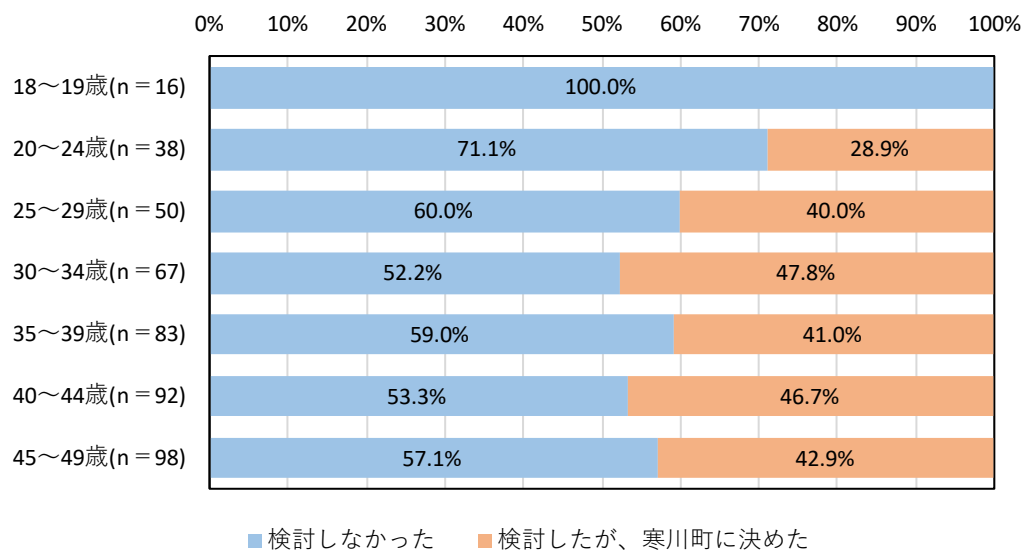
「検討しなかった」が 47.6 ポイントと最も多く、5 割の人がはじめてから寒川町だけを検討していたことがわかります。

【性別】



性別でみると、転入の際に寒川町以外の市区町村を検討したかどうかでは、男女間に大きな差はみられません。

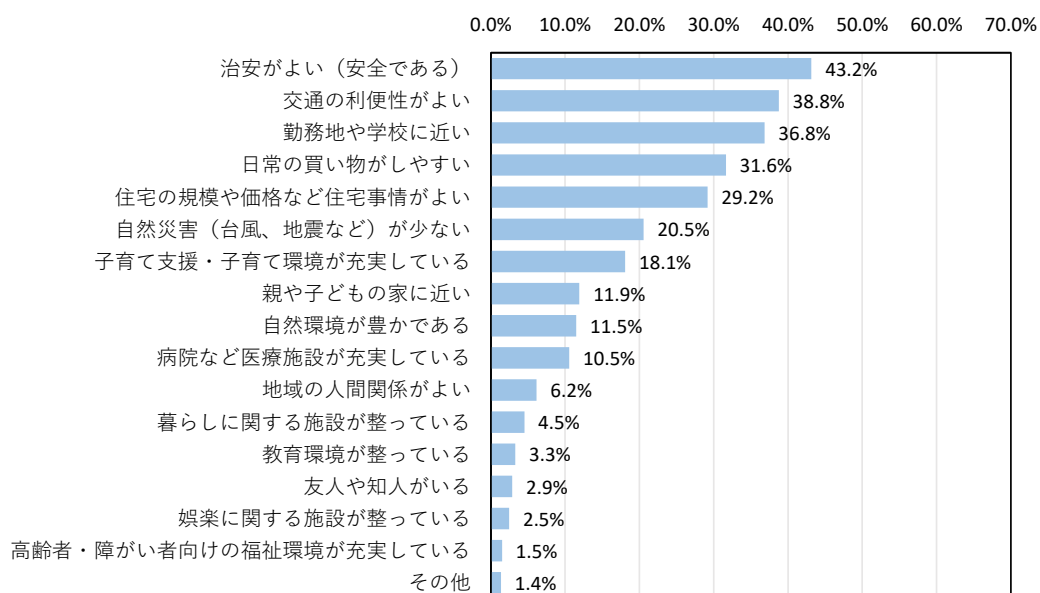
【年齢】



年齢別でみると、検討しなかったがどの年代でも半数以上おり、寒川町に初めから決めている場合が多いと考えられます。

(5) 転居先を決める際に考慮する、重要な環境

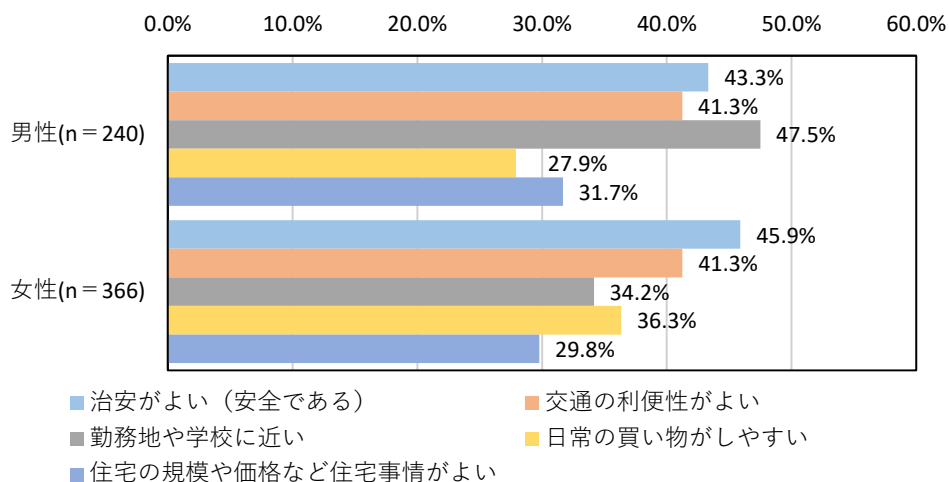
問3. もし転居するとした場合、転居先を決める際に優先される事項は次のどれですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び、○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
自然災害（台風、地震など）が少ない	150	20.5%
治安がよい（安全である）	315	43.2%
自然環境が豊かである	84	11.5%
住宅の規模や価格など住宅事情がよい	213	29.2%
勤務地や学校に近い	269	36.8%
交通の利便性がよい	283	38.8%
日常の買い物がしやすい	231	31.6%
暮らしに関する施設が整っている	33	4.5%
娯楽に関する施設が整っている	18	2.5%
子育て支援・子育て環境が充実している	132	18.1%
教育環境が整っている	24	3.3%
高齢者・障がい者向けの福祉環境が充実している	11	1.5%
病院など医療施設が充実している	77	10.5%
地域の人間関係がよい	45	6.2%
親や子どもの家に近い	87	11.9%
友人や知人がいる	21	2.9%
その他	10	1.4%
無回答	33	4.5%
回答者数	730	100.0%

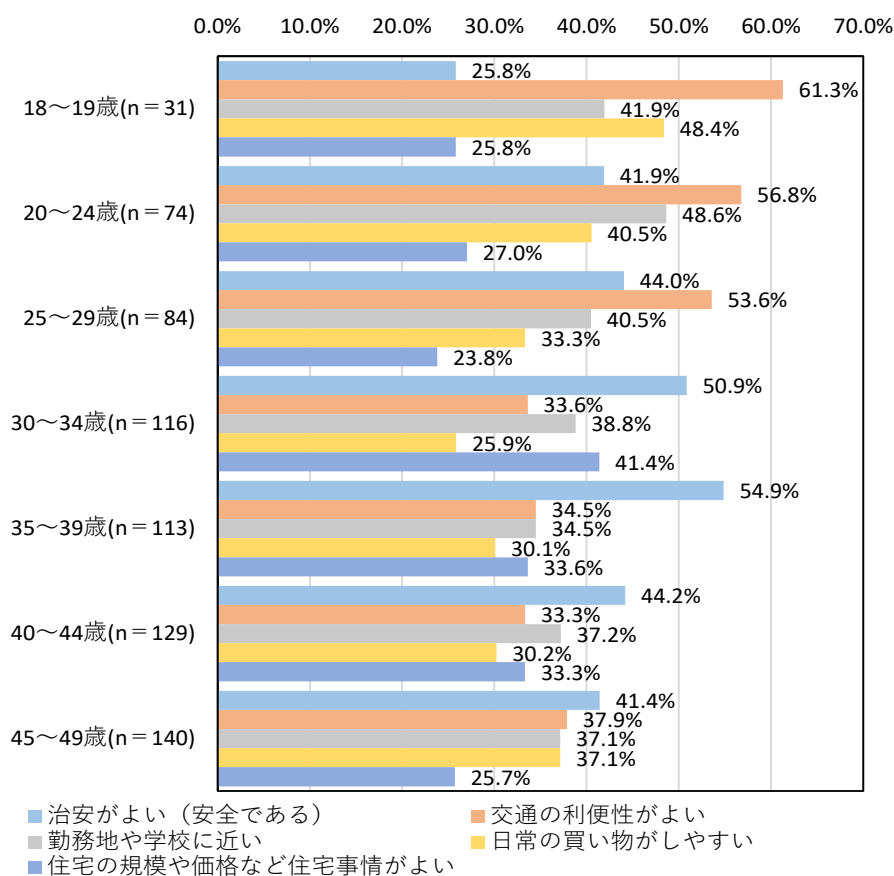
「治安がよい（安全である）」と回答した人が 43.2 ポイントと最も多く、次いで「交通の利便性がよい」が 38.8 ポイント、「勤務地や学校に近い」が 36.8 ポイントと続いています。

【性別】（回答数上位 5 項目）



性別でみると女性の方が「日常の買い物がしやすい」を重視することがわかります。

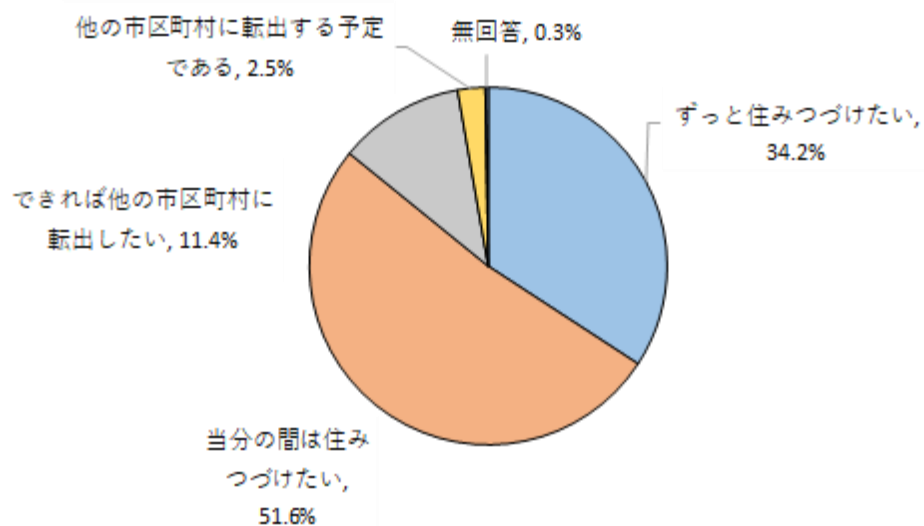
【年齢別】（回答数上位 5 項目）



年齢別でみると、年齢が若いほど「交通の利便性がよい」を重視する一方で、年齢を重ねるほど「治安が良い」を重視することがわかります。

(6) 寒川町の町にこれからも住みつづけたいと思うか

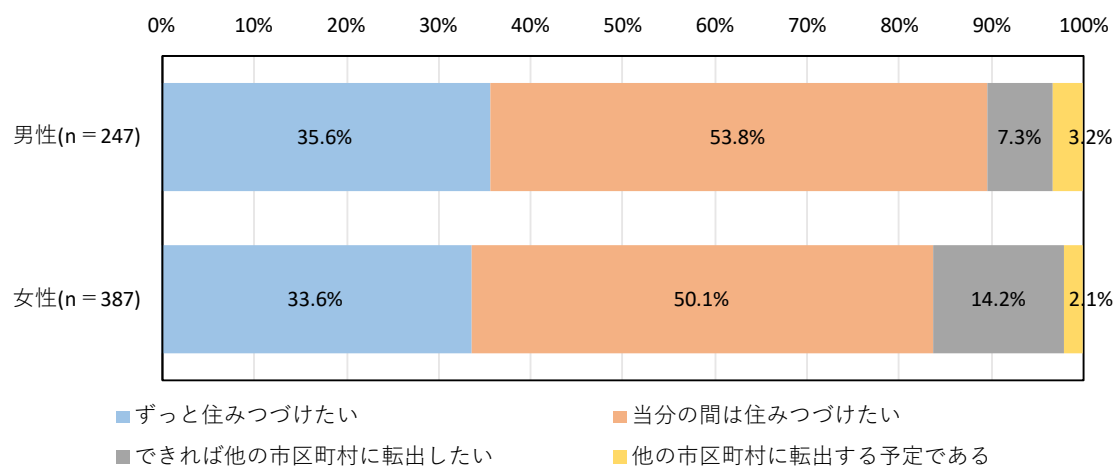
問4. あなたは、寒川町にこれからも住みつづけたいと思いますか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
ずっと住みつづけたい	249	34.2%
当分の間は住みつづけたい	376	51.6%
できれば他の市区町村に転出したい	83	11.4%
他の市区町村に転出する予定である	18	2.5%
無回答	2	0.3%
回答数	728	100.0%

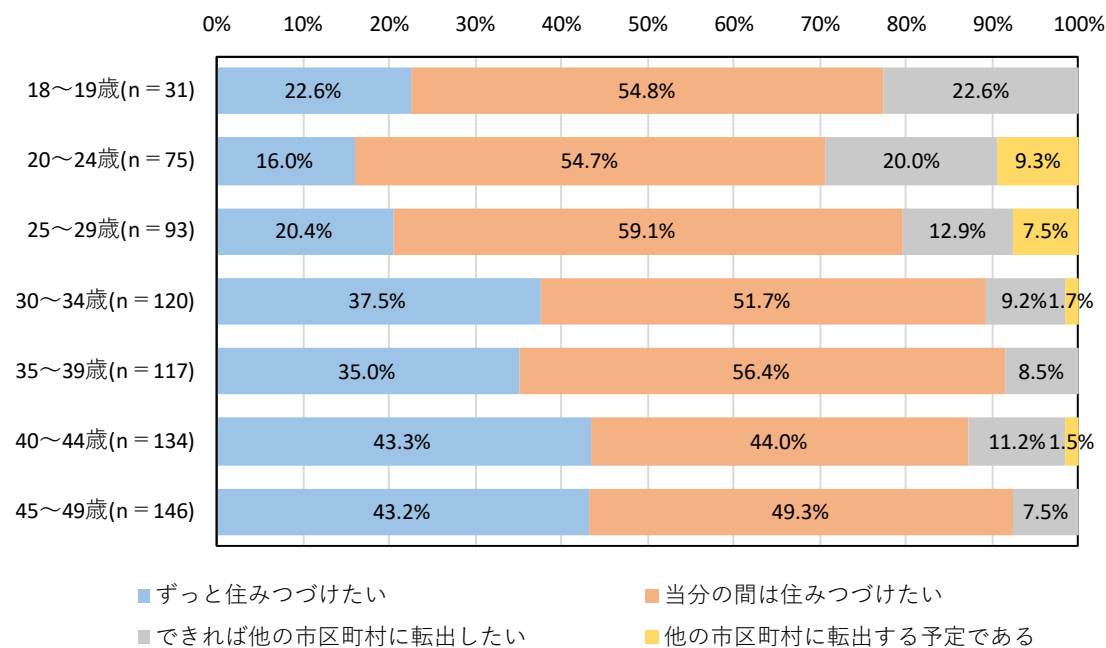
「当分の間は住みつづけたい」と回答した人が51.6ポイントと最も多く、次いで「ずっと住みつづけたい」が34.2ポイント、「できれば他の市区町村に転出したい」が11.4ポイントと続いています。

【性別】



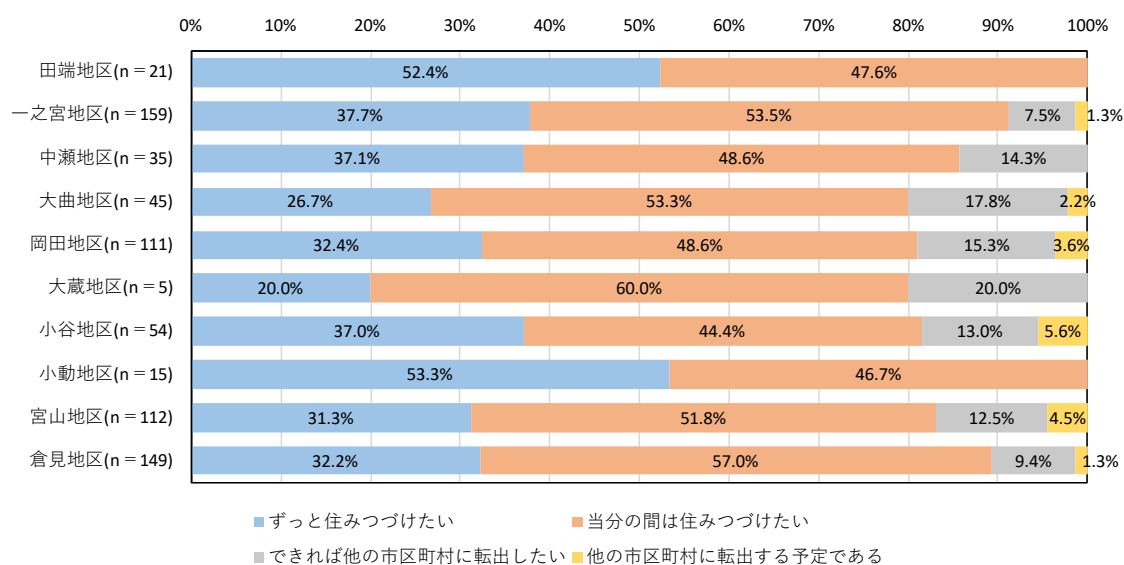
性別でみると、女性の方が「できれば他の市区町村に転出したい」と回答した人が6.9ポイント多いことがわかります。

【年齢別】



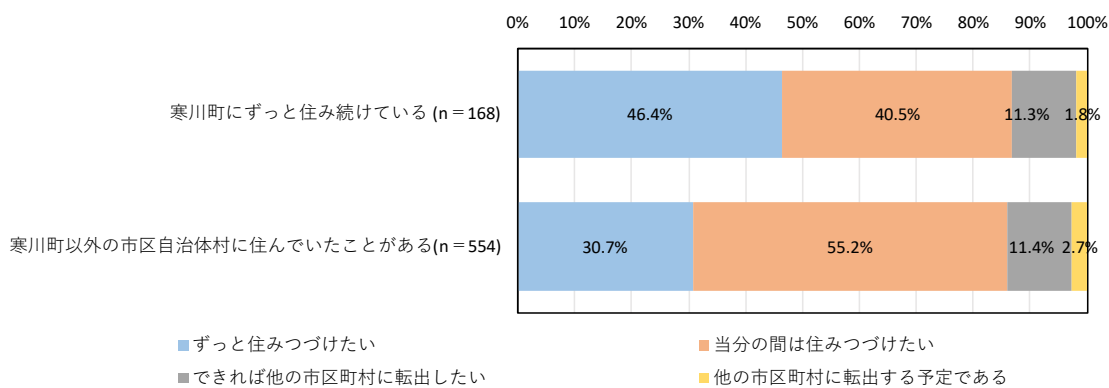
年齢別にみると、年齢が若いほど転出を希望しており、年齢を重ねるごとに定住意向が強くなることがわかります。

【地区別】



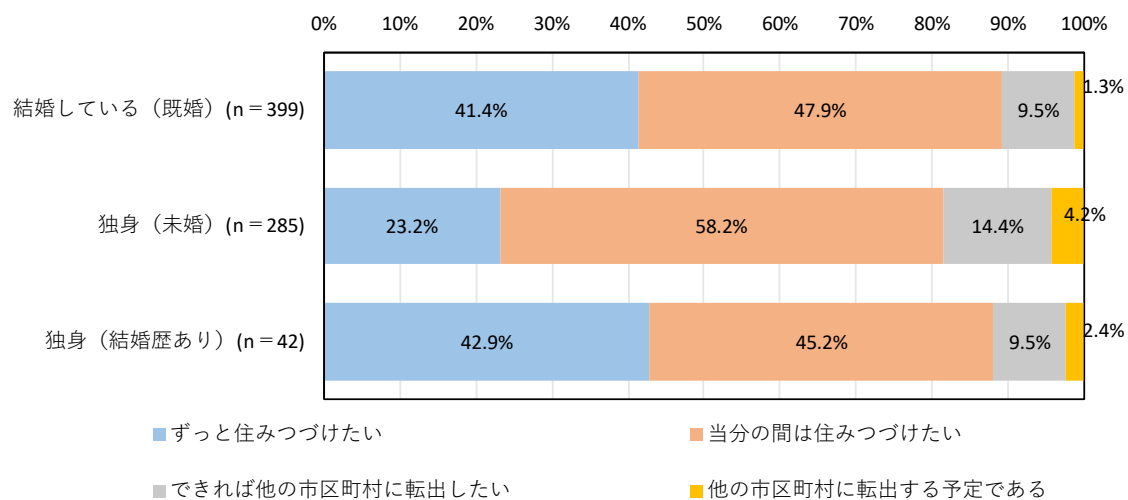
地区別にみると、定住意向が強いのは「田端地区」と「小動地区」で、転出意向が強いのが「大蔵地区」であることがわかります。

【転入者】



転入者であるかどうかによって定住意向に大きな差はみられません。

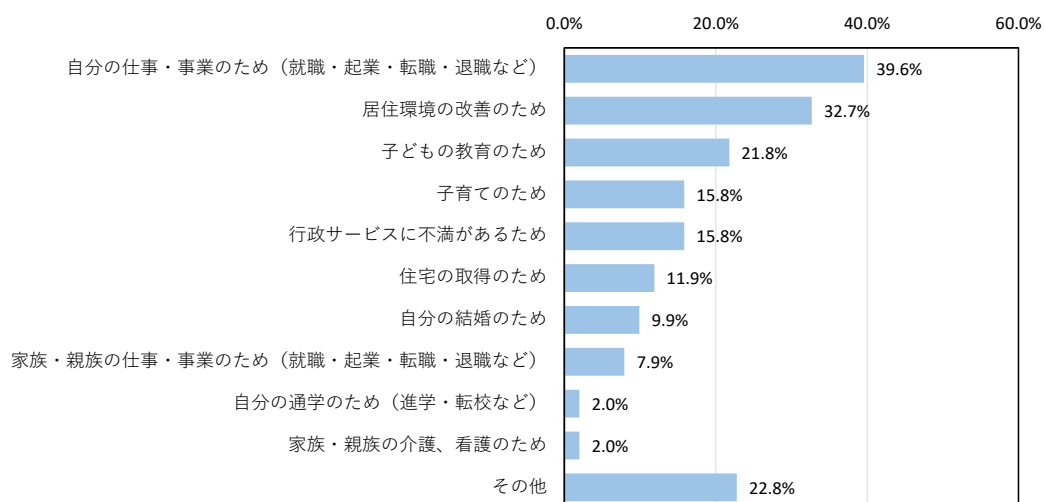
【婚姻】



独身の方が既婚者と比べて転出意向が強いことがわかります。

(7) 転出の際の検討市区町村

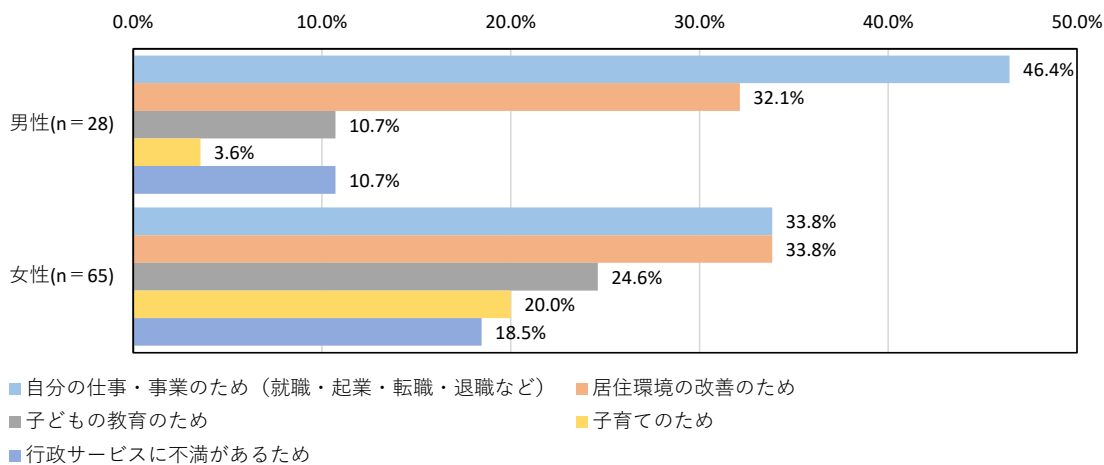
【問4-1】問4で「3, 4」と回答した方のみお答えください。転出する理由として、あてはまるものを3つまで選び、○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
自分の通学のため（進学・転校など）	2	2.0%
自分の仕事・事業のため（就職・起業・転職・退職など）	40	39.6%
自分の結婚のため	10	9.9%
家族・親族の仕事・事業のため（就職・起業・転職・退職など）	8	7.9%
子育てのため	16	15.8%
子どもの教育のため	22	21.8%
家族・親族の介護、看護のため	2	2.0%
住宅の取得のため	12	11.9%
居住環境の改善のため	33	32.7%
行政サービスに不満があるため	16	15.8%
その他	23	22.8%
無回答	1	1.0%
回答数	101	100.0%

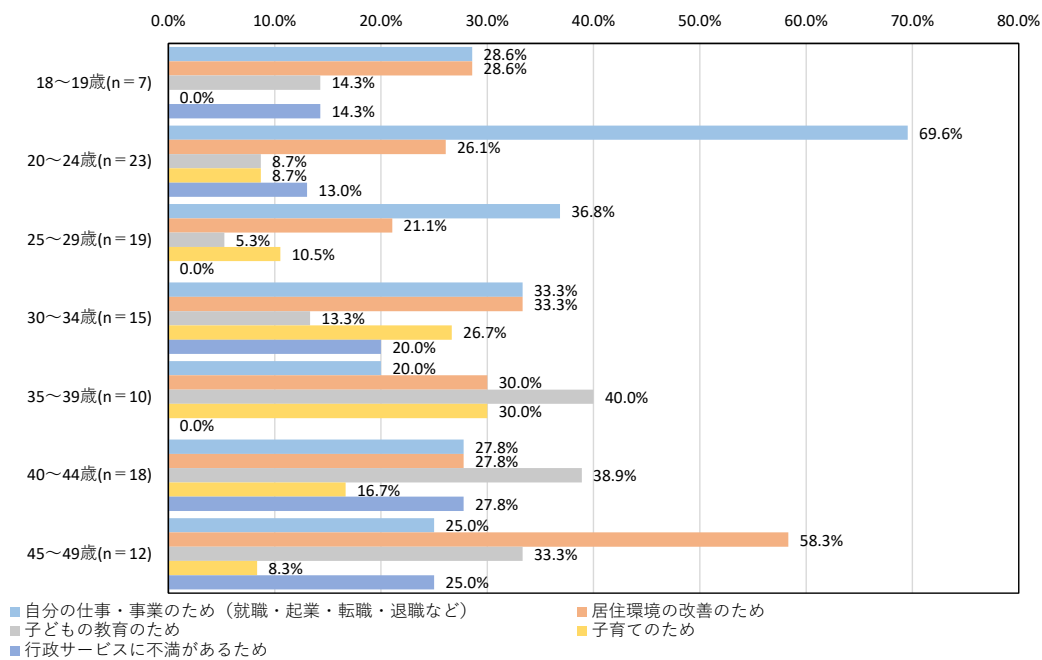
「自分の仕事・事業のため（就職・起業・転職・退職など）」と回答した人が 39.6 ポイントと最も多く、次いで「住居環境の改善のため」が 32.7 ポイント、「子どもの教育のため」が 21.8 ポイントと続いています。

【性別】（回答数上位 5 項目）



性別でみると、男性は「自分の仕事・事業のため」の回答が高く、約半数が理由として挙げています。

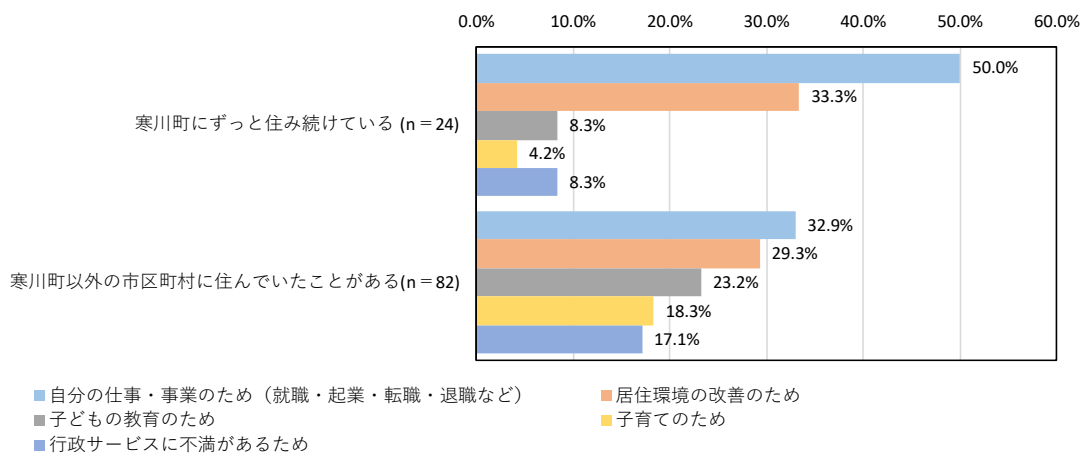
【年齢】（回答数上位 5 項目）



年齢別でみると、20～24 歳が「自分の仕事・事業のため」の回答割合が高く、就職等が原因と考えられます。

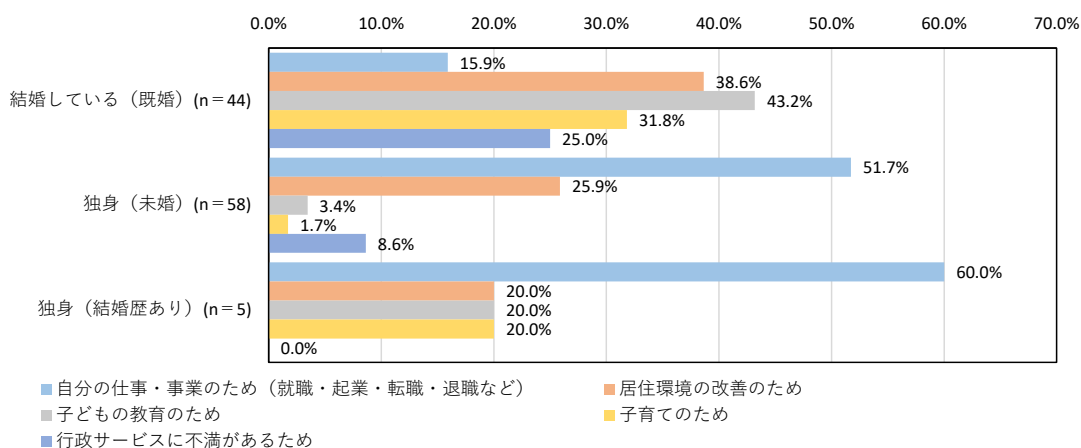
また、45～49 歳は「居住環境の改善のため」の回答割合が高いことがわかります。

【転入者】（回答数上位 5 項目）



ずっと住み続けている人は、「自分の仕事・事業のため」と「居住環境の改善のため」の回答割合が高いことがわかります。

【婚姻】（回答数上位 5 項目）

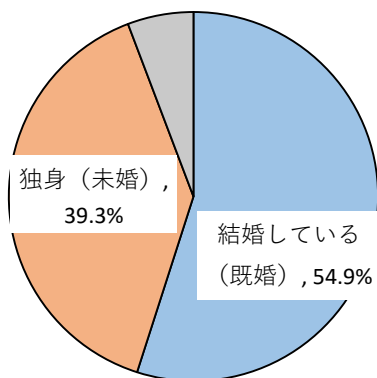


現在独身の方は「自分の仕事・事業のため」の回答割合が既婚の方に比べ多いことがわかります。

(8) 結婚しているか

問5. あなたは、現在結婚していますか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

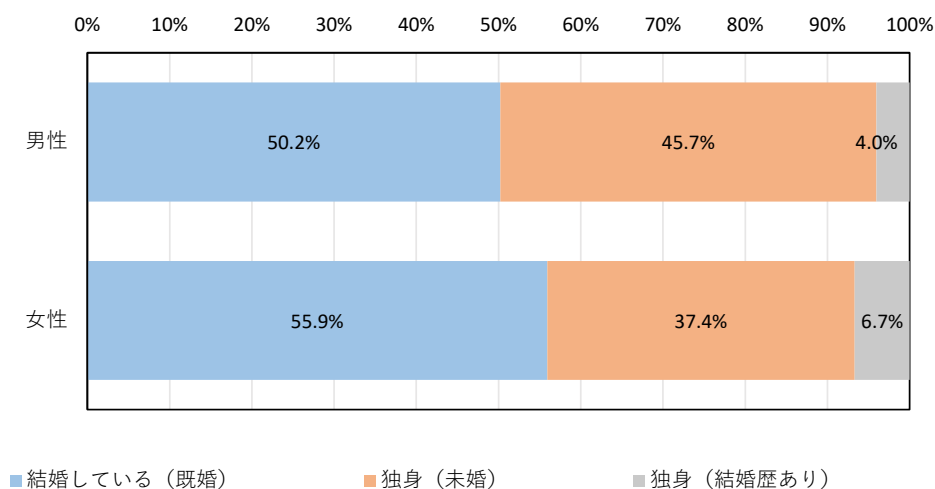
独身（結婚歴あり）, 5.8%



選択肢	回答数	割合
結婚している（既婚）	400	54.9%
独身（未婚）	286	39.3%
独身（結婚歴あり）	42	5.8%
無回答	0	0.0%
回答数	728	100.0%

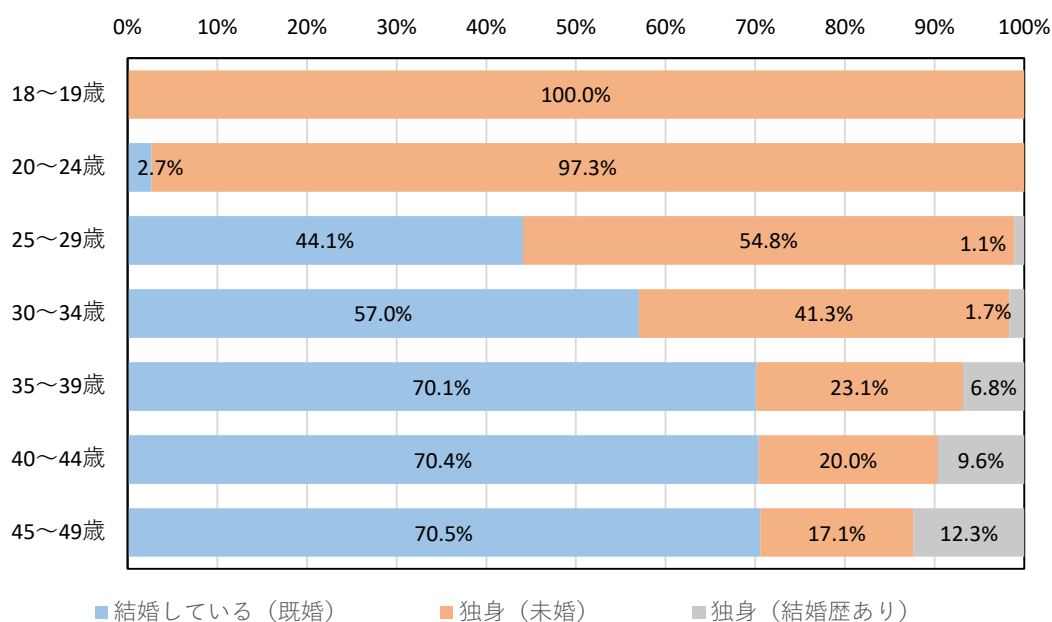
「結婚している（既婚）」と回答した人が 54.9 ポイントと、半数が結婚しています。

【性別】



性別でみると、女性の方が男性よりも結婚している割合が高いことがわかります。

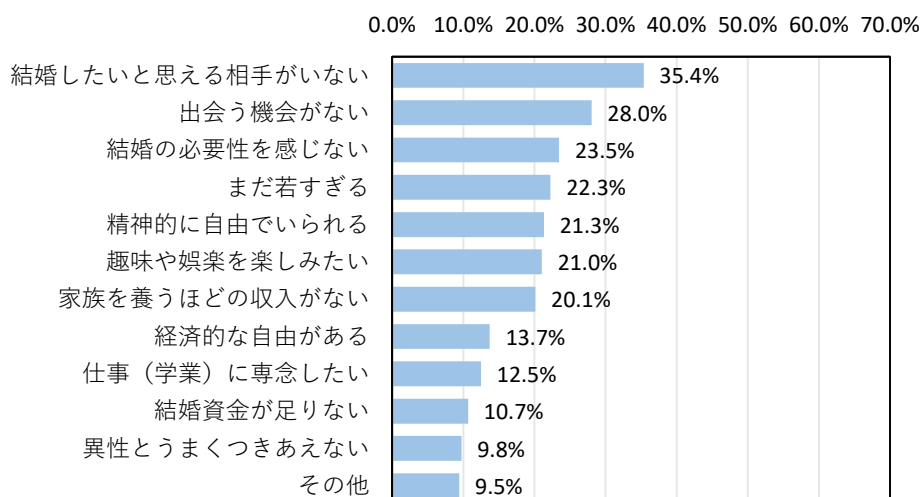
【年齢】



年齢別でみると、25～29歳の時に大きく増加し、35歳以降は横ばいで推移しています。

(9) 現在、結婚していない理由

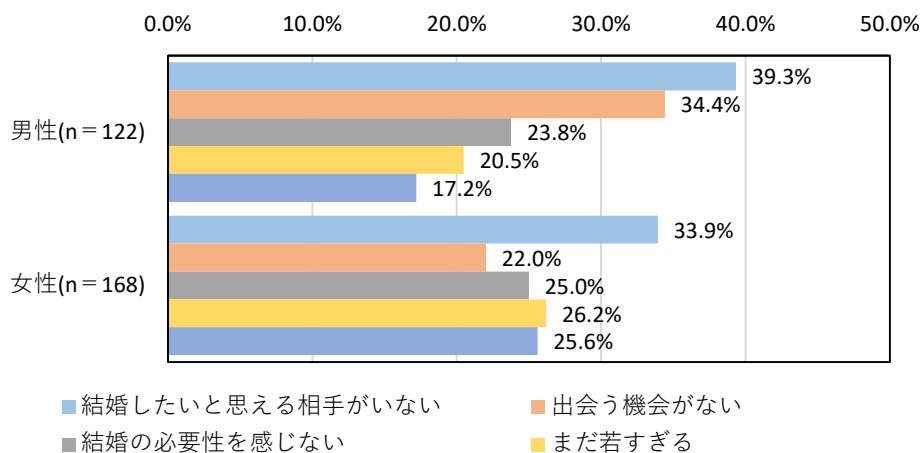
【問5-1】 問5で「2, 3」と回答した方のみお答えください。現在結婚していない理由としてあなたのお考えに近いものを3つまで選び、○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
結婚したいと思える相手がいない	116	35.4%
結婚の必要性を感じない	77	23.5%
家族を養うほどの収入がない	66	20.1%
精神的に自由でいられる	70	21.3%
経済的な自由がある	45	13.7%
趣味や娯楽を楽しみたい	69	21.0%
異性とうまくつきあえない	32	9.8%
仕事（学業）に専念したい	41	12.5%
結婚資金が足りない	35	10.7%
まだ若すぎる	73	22.3%
出会う機会がない	92	28.0%
その他	31	9.5%
無回答	4	1.2%
回答数	328	100.0%

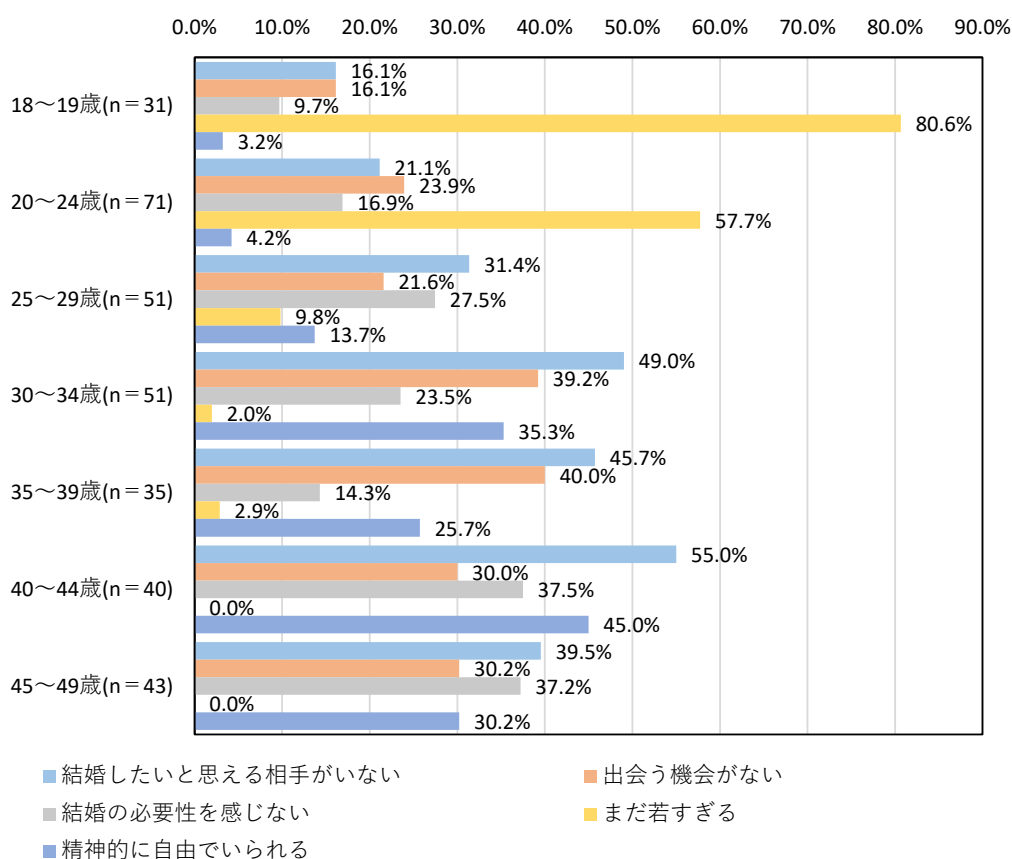
「結婚したいと思える相手がいない」と回答した人が35.4ポイントと最も多く、次いで「出会う機会がない」が28.0ポイント、「結婚の必要性を感じない」が23.5ポイントと続いています。

【性別】



性別でみると、男性の方が女性より出会う機会がないと感じていると考えられます。

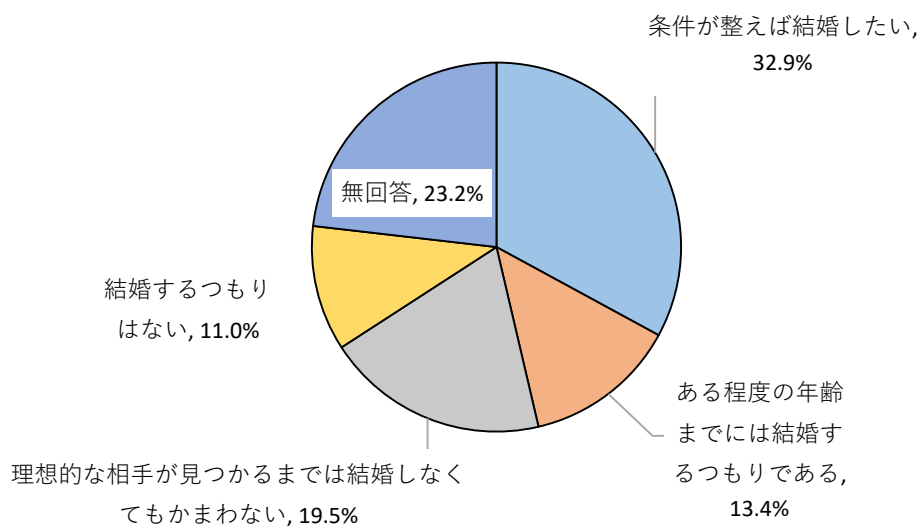
【年齢】



年齢別にみると、「まだ若すぎる」と感じるのは24歳までで、25歳以降は「結婚したいと思える相手がいない」ことがわかります。

(10) 結婚に関する考え

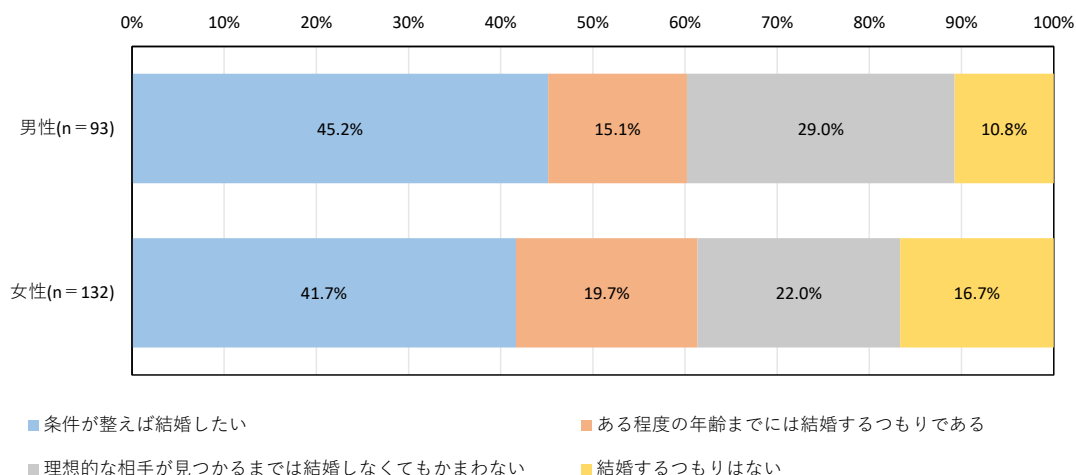
【問5－2】 問5で「2, 3」と回答した方のみお答えください。結婚に関するあなたのお考えに近いものを1つ選び、○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
条件が整えば結婚したい	108	32.9%
ある程度の年齢までには結婚するつもりである	44	13.4%
理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない	64	19.5%
結婚するつもりはない	36	11.0%
無回答	76	23.2%
回答数	328	100.0%

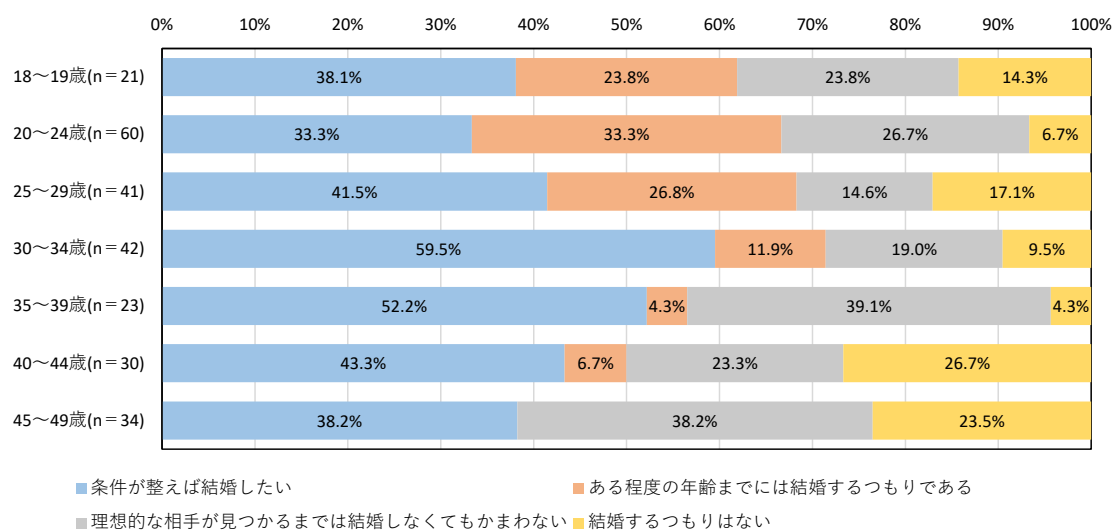
「条件が整えば結婚したい」と回答した人が 32.9 ポイントと最も多く、次いで「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」が 19.5 ポイント、「ある程度の年齢までには結婚するつもりである」が 13.4 ポイントと続いています。

【性別】



性別でみると、男性の方が女性より、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」と考えている人の割合が7ポイント多いことがわかります。

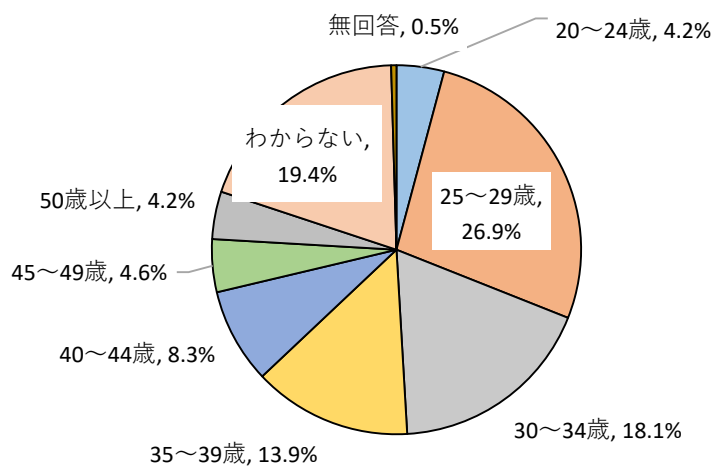
【年齢】



年齢別にみると、34歳までは「ある程度の年齢までには結婚するつもりである」が1割以上回答していたが、年齢を重ねるごとに「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」と「結婚するつもりはない」の割合が増加していることが考えられます。

(1 1) 何歳ぐらいまでに結婚したいか

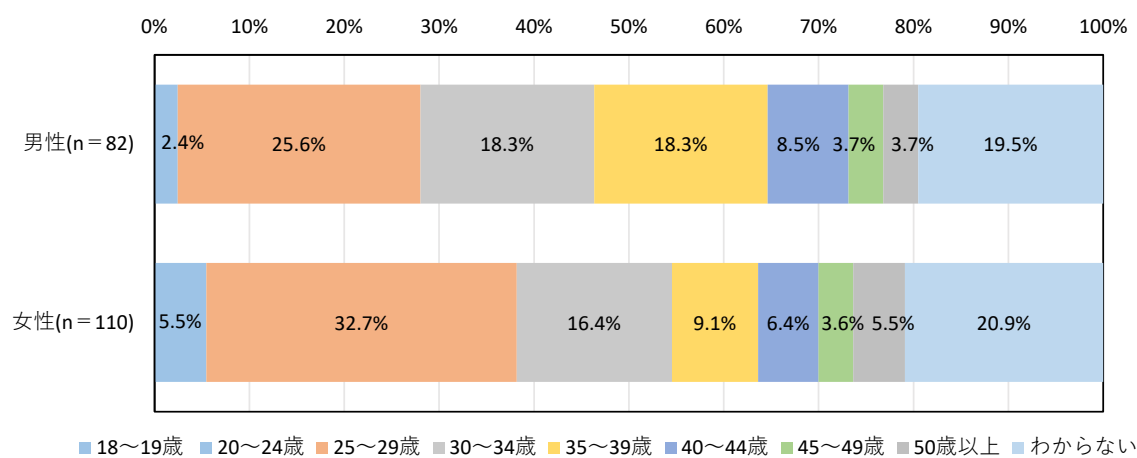
【問5－2－1】 問5－2で「1, 2, 3」と回答した方のみお答えください。何歳ぐらいまでに結婚したいですか。あなたのお考えに近いものを1つ選び、○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
18～19歳	0	0.0%
20～24歳	9	4.2%
25～29歳	58	26.9%
30～34歳	39	18.1%
35～39歳	30	13.9%
40～44歳	18	8.3%
45～49歳	10	4.6%
50歳以上	9	4.2%
わからない	42	19.4%
無回答	1	0.5%
回答数	216	100.0%

「25～29歳」と回答した人が26.9ポイントと最も多く、次いで「わからない」が19.4ポイント、「30～34歳」が18.1ポイントと続いています。

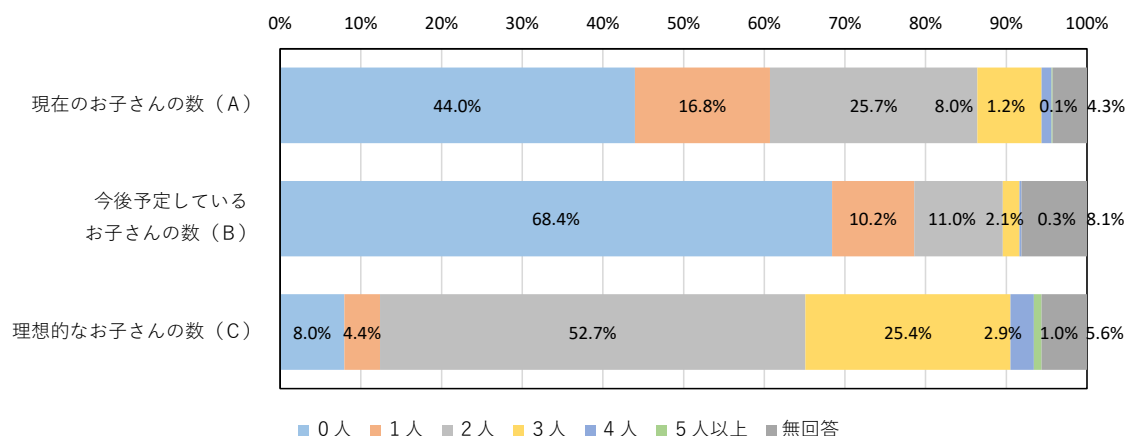
【性別】



性別でみると、男女ともに 39 歳までに結婚したいと答えた人の割合が 6 割程度です。また、女性の方が男性より 20 代までに結婚したいと思っている人の割合が多いことがわかります。

(12) 現在の子どもの数、今後の子どもの予定数、理想的な子どもの数

問6. あなたにとって、現在のお子さんの数、今後予定しているお子さんの数、理想的なお子さんの数について、それぞれ1つ選び、○をつけてください。

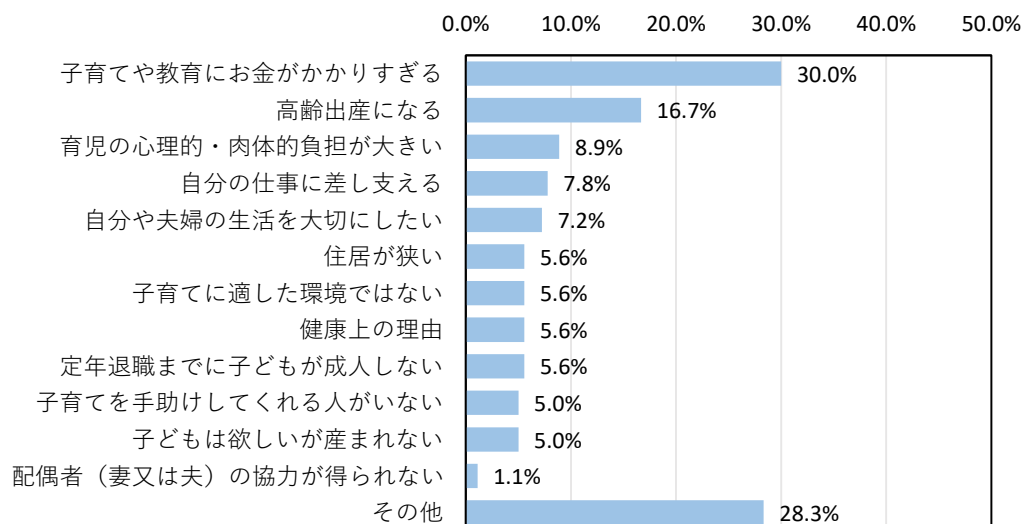


選択肢		回答数	割合
A	0人	320	44.0%
	1人	122	16.8%
	2人	187	25.7%
	3人	58	8.0%
	4人	9	1.2%
	5人以上	1	0.1%
	無回答	31	4.3%
	回答者数	728	100.0%
B	0人	498	68.4%
	1人	74	10.2%
	2人	80	11.0%
	3人	15	2.1%
	4人	2	0.3%
	5人以上	0	0.0%
	無回答	59	8.1%
	回答者数	728	100.0%
C	0人	58	8.0%
	1人	32	4.4%
	2人	384	52.7%
	3人	185	25.4%
	4人	21	2.9%
	5人以上	7	1.0%
	無回答	41	5.6%
	回答者数	728	100.0%

現在のお子さんの数と今後予定しているお子さんの数はともに「0人」が最も多いです。
理想的なお子さんの数は「2人」が最も多いです。

(13) もっと子どもを産まない理由

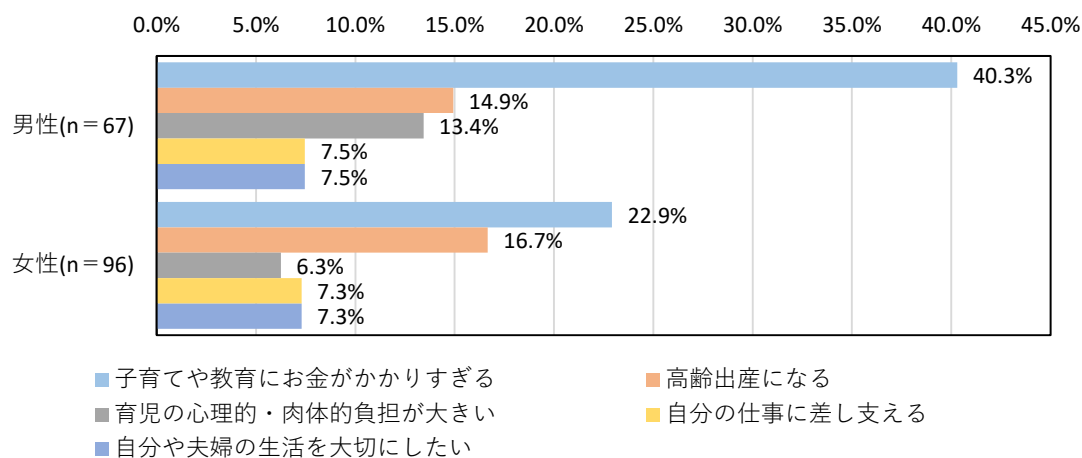
【問6-1】問6で、「現在のお子さんの数（A）」と「今後予定しているお子さんの数（B）」を足した数が、「理想的小子さんの数（C）」より少ない方（もっと子どもが欲しい方）だけにお聞きします。（A+BがCより少ない場合 例：A 1人、B 1人、C 3人 の場合など）
その理由について、あなたのお考えに近いものを3つまで選び、○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
子育てや教育にお金がかかりすぎる	54	30.0%
住居が狭い	10	5.6%
自分の仕事に差し支える	14	7.8%
子育てを手助けしてくれる人がいない	9	5.0%
子育てに適した環境ではない	10	5.6%
自分や夫婦の生活を大切にしたい	13	7.2%
高齢出産になる	30	16.7%
健康上の理由	10	5.6%
育児の心理的・肉体的負担が大きい	16	8.9%
子どもは欲しいが産めない	9	5.0%
配偶者（妻又は夫）の協力が得られない	2	1.1%
定年退職までに子どもが成人しない	10	5.6%
その他	51	28.3%
無回答	51	28.3%
回答者数	180	100.0%

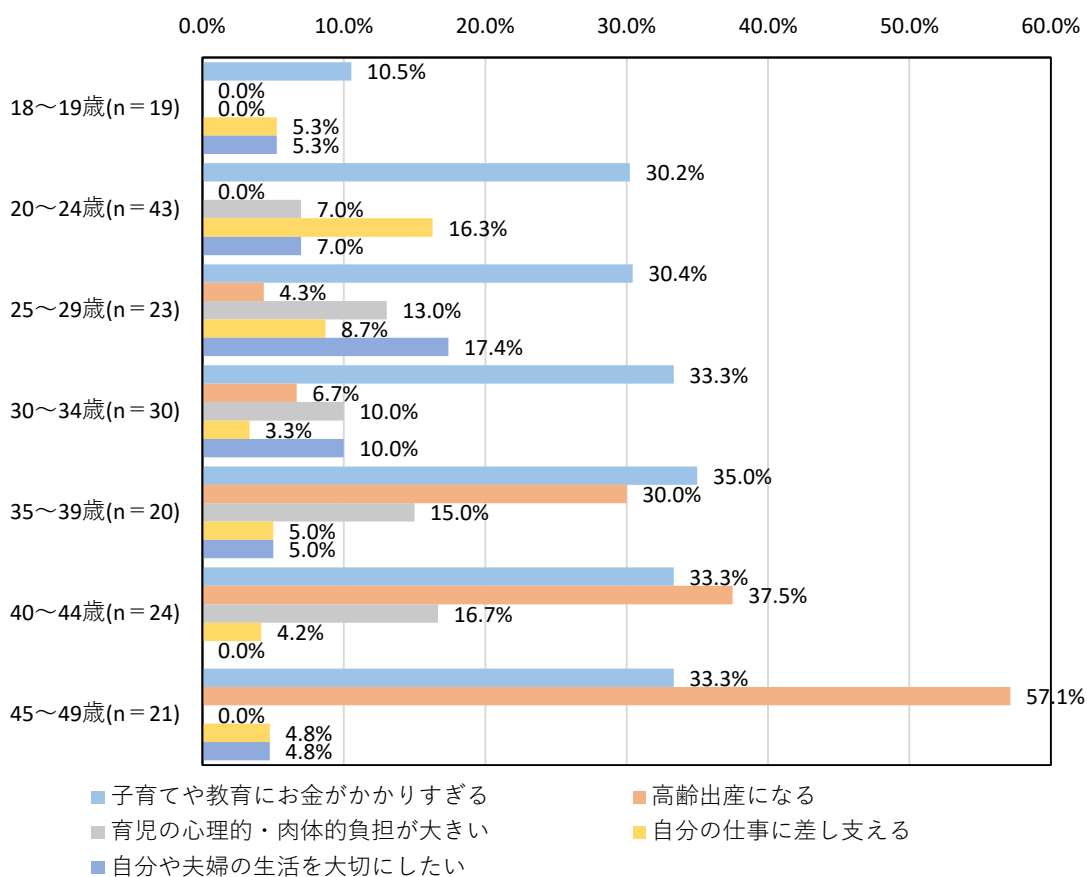
「子育てや教育にお金がかかりすぎる」と回答した人が30.0ポイントと最も多く、次いで「高齢出産になる」が16.7ポイント、「育児の心理的・肉体的負担が大きい」が8.9ポイントと続いています。

【性別】（回答数上位 5 項目）



性別でみると、男性が「子育てや教育にお金がかかりすぎる」と回答している割合が高いことがわかります。

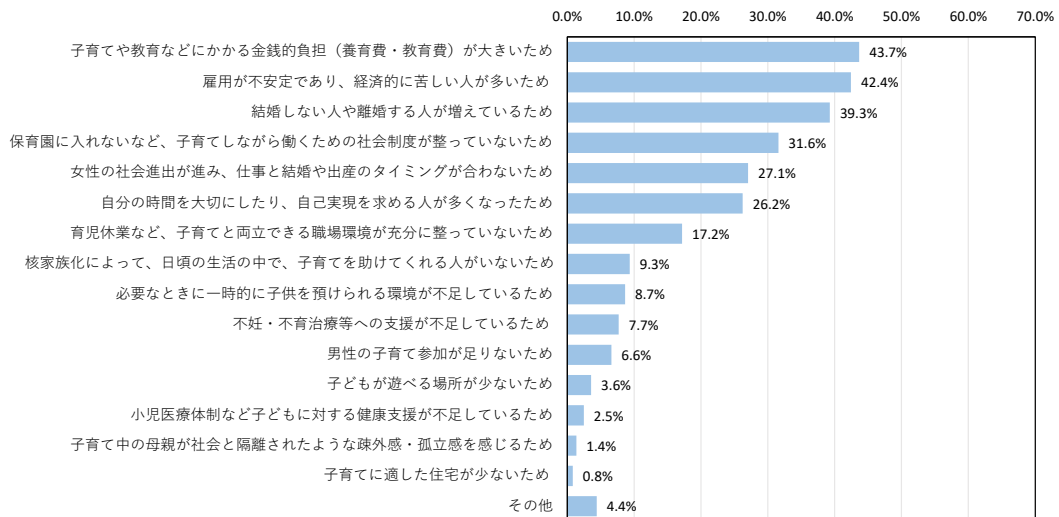
【年齢】（回答数上位 5 項目）



年齢別にみると、ほとんどの年代で「子育てや教育にお金がかかりすぎる」と回答していることがわかります。

(14) 出生率が低下している主な要因

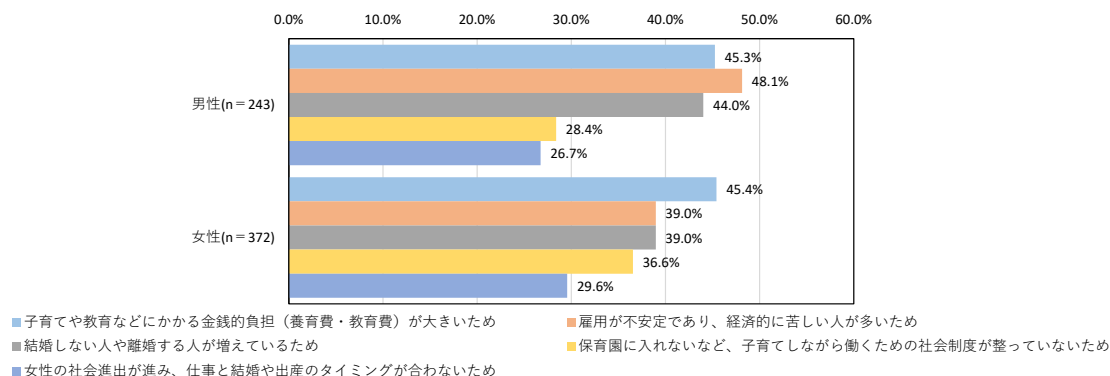
問7. 出生率が低い主な要因は何だと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び、○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
雇用が不安定であり、経済的に苦しい人が多い	309	42.4%
結婚しない人や離婚する人が増えている	286	39.3%
不妊・不育治療等への支援が不足している	56	7.7%
小児医療体制など子どもに対する健康支援が不足している	18	2.5%
子どもが遊べる場所が少ない	26	3.6%
保育園に入れないなど、子育てしながら働くための社会制度が整っていない	230	31.6%
必要ときに一時的に子供を預けられる環境が不足している	63	8.7%
子育てに適した住宅が少ない	6	0.8%
育児休業など、子育てと両立できる職場環境が十分に整っていない	125	17.2%
子育てや教育などにかかる金銭的負担（養育費・教育費）が大きい	318	43.7%
子育て中の母親が社会と隔離されたような疎外感・孤立感を感じる	10	1.4%
男性の子育て参加が足りない	48	6.6%
女性の社会進出が進み、仕事と結婚や出産のタイミングが合わない	197	27.1%
自分の時間を大切にしたり、自己実現を求める人が多くなった	191	26.2%
核家族化によって、日頃の生活の中で、子育てを助けてくれる人がいない	68	9.3%
その他	32	4.4%
無回答	16	2.2%
回答者数	728	100.0%

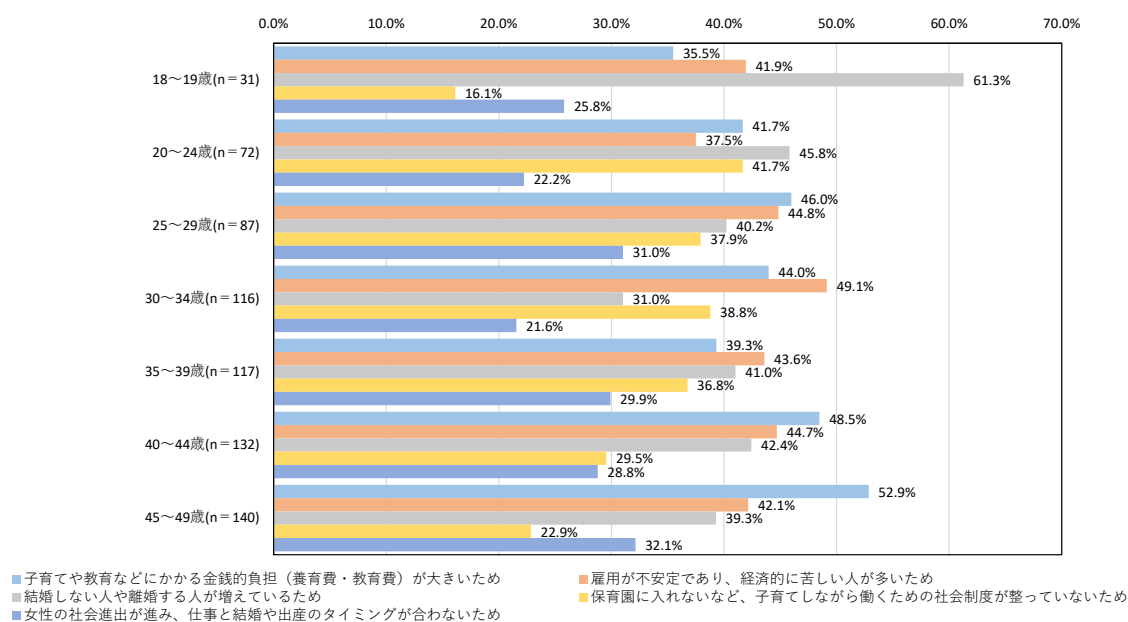
「子育てや教育などにかかる金銭的負担（養育費・教育費）が大きい」と回答した人が43.7ポイントと最も多く、次いで「雇用が不安定であり、経済的に苦しい人が多い」が42.4ポイント、「結婚しない人や離婚する人が増えている」が39.3ポイントと続いています。

【性別】（回答数上位 5 項目）



性別でみると、男性の方が女性より「雇用が不安定であり、経済的に苦しい人が多い」と回答する割合が高いことがわかり、女性の方が男性より「保育園に入れないなど、子育てしながら働くための社会制度が整っていない」と回答する割合が高いことがわかります。

【年齢】（回答数上位 5 項目）



年齢別でみると、18～19歳が「結婚しない人や離婚する人が増えている」と回答した人の割合が高いことがわかります。また、「保育園に入れないなど、子育てしながら働くための社会制度が整っていない」という回答は年齢を重ねるごとに減少していくことがわかります。

(15) 重要度・満足度

問8. 自治体では人口減少の克服や魅力あるまちづくりの実現に向け、次の取り組みを進めてきましたが、それぞれの取り組みの満足度と今後の重要度について、あてはまるものを選び、○をつけてください。

【満足度】

設問	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	わからない	無回答	回答者数
自治体の地域経済の活性化	13	69	327	139	60	93	27	728
新たなビジネスの創出支援	10	32	296	152	65	138	35	728
自治体のイメージアップ(ブランディング)	19	114	280	131	71	81	32	728
結婚から子育てまでの切れ目ない支援	14	84	280	123	64	131	32	728
子どもの教育内容・環境の充実	16	92	288	131	64	110	27	728
地域社会による子育て支援	13	103	319	107	43	111	32	728
地域の防犯力の向上	31	129	315	104	51	69	29	728
若い世代の意見の自治体政への反映	11	45	322	134	69	117	30	728
自治体内交通環境の充実	35	114	232	156	100	63	28	728

満足またはやや満足と回答した人が最も多いのは「地域の防犯力の向上」、次いで「自治体内交通環境の充実」、「自治体のイメージアップ(ブランディング)」と続いています。

【重要度】

設問	重要	やや重要	どちらとも いえない	それほど重 要でない	重要でない	わからない	無回答	回答者数
自治体の地域経済の活性化	257	234	139	19	9	36	34	728
新たなビジネスの創出支援	145	181	244	49	19	53	37	728
自治体のイメージアップ(ブランディング)	162	183	227	56	21	39	40	728
結婚から子育てまでの切れ目ない支援	290	206	131	20	8	38	35	728
子どもの教育内容・環境の充実	352	187	105	7	7	35	35	728
地域社会による子育て支援	311	206	130	7	7	30	37	728
地域の防犯力の向上	316	212	125	7	3	27	38	728
若い世代の意見の自治体政への反映	212	223	191	22	4	36	40	728
自治体内交通環境の充実	293	222	133	18	7	22	33	728

重要またはやや重要と回答した人が最も多いのは「子どもの教育内容・環境の充実」、次いで「地域の防犯力の向上」、「地域社会による子育て支援」と続いています。

<加重平均>

満足度を比率とは別に、その比較を明確にするため加重平均を算出し、評点化しました。加重平均は下記算出式に基づき行いました。

$$\begin{array}{rcll} & \text{「満足」の回答者数} & \times & 5 \\ + & \text{「やや満足」の回答者数} & \times & 4 \\ + & \text{「どちらともいえない」の回答者数} & \times & 3 \\ + & \text{「やや不満」の回答者数} & \times & 2 \\ + & \text{「不満」の回答者数} & \times & 1 \\ + & \text{「わからない」の回答者数} & \times & 0 \\ \hline \text{加重平均値} = & \text{上記の回答者数} & & \end{array}$$

重要度を比率とは別に、その比較を明確にするため加重平均を算出し、評点化しました。加重平均は下記算出式に基づき行いました。

$$\begin{array}{rcll} & \text{「重要」の回答者数} & \times & 5 \\ + & \text{「やや重要」の回答者数} & \times & 4 \\ + & \text{「どちらともいえない」の回答者数} & \times & 3 \\ + & \text{「それほど重要でない」の回答者数} & \times & 2 \\ + & \text{「重要でない」の回答者数} & \times & 1 \\ + & \text{「わからない」の回答者数} & \times & 0 \\ \hline \text{加重平均値} = & \text{上記の回答者数} & & \end{array}$$

設問	重要度	満足度
自治体の地域経済の活性化	2.37	3.87
新たなビジネスの創出支援	2.07	3.33
自治体のイメージアップ(ブランディング)	2.48	3.42
結婚から子育てまでの切れ目ない支援	2.24	3.92
子どもの教育内容・環境の充実	2.34	4.10
地域社会による子育て支援	2.43	4.04
地域の防犯力の向上	2.68	4.09
若い世代の意見の自治体政への反映	2.20	3.74
自治体内交通環境の充実	2.48	4.02

取組の「満足度」の評点と「重要度」の評点を用いて、各取組における「重要度」の評点を縦軸に、「満足度」の評点を横軸にとり、散布図で相対比較しました。

<重要度高・満足度高の領域>

全取組のうち、相対的に重要度が高く、満足度も高い領域です。この領域に分類される取組は、他の取組と比較し、市民ニーズに即していることがうかがえ、今後も引き続き重点取組として優先して位置づけ、取り組んでいく必要があるといえます。

<重要度高・満足度低の領域>

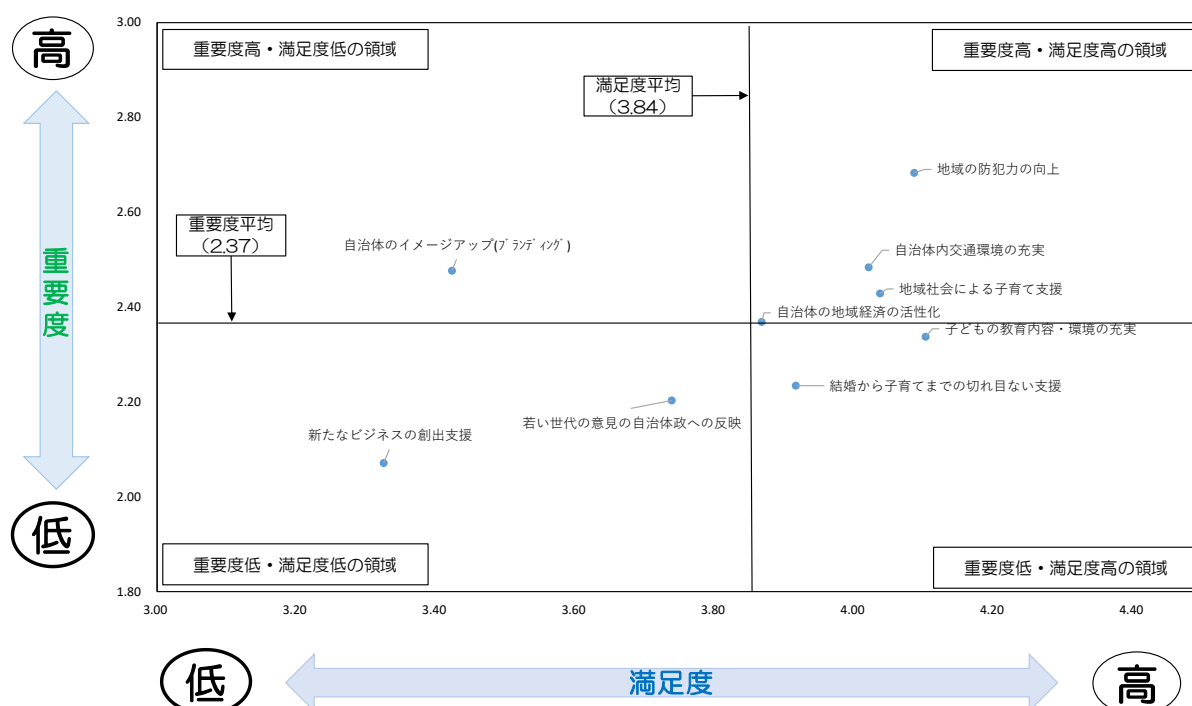
全取組のうち、相対的に重要度が高く、満足度が低い領域です。この領域に分類される取組は、他の取組と比較し、市民ニーズがあるにもかかわらず、行政としてその期待に応えられていないことがうかがえます。これらの取組については、取組のあり方を見直す必要性が高いといえます。

<重要度低・満足度高の領域>

全取組のうち、相対的に重要度が低く、満足度が高い領域です。この領域に分類される取組は、他の取組と比較し、市民ニーズを上回る行政サービスを提供している可能性もあり、行政サービスの提供が過剰となっていないかどうか確認する必要があります。

<重要度低・満足度低の領域>

全取組のうち、相対的に重要度が低く、満足度も低い領域です。この領域に分類される取組は、他の取組と比較し、市民の関心度が低い取組であり、そもそも行政で対応すべきであるのかについて検討する必要があります。



【地区】満足度

	田端地区	一之宮地区	中瀬地区	大曲地区	岡田地区	大蔵地区	小谷地区	小動地区	宮山地区	倉見地区
自治体の地域経済の活性化	2.10	2.37	2.38	2.80	2.32	2.40	2.23	2.43	2.23	2.49
新たなビジネスの創出支援	2.48	2.06	1.91	2.34	1.91	1.60	1.98	2.07	1.90	2.32
自治体のイメージアップ(ブランディング)	2.57	2.55	2.22	2.84	2.31	1.60	2.39	3.07	2.34	2.65
結婚から子育てまでの切れ目ない支援	2.24	2.22	2.03	2.42	2.18	2.40	2.29	2.14	2.11	2.40
子どもの教育内容・環境の充実	2.62	2.30	2.00	2.57	2.37	2.20	2.31	2.64	2.15	2.49
地域社会による子育て支援	2.76	2.42	2.42	2.68	2.29	3.20	2.48	2.07	2.19	2.61
地域の防犯力の向上	2.57	2.78	2.52	2.82	2.64	3.60	2.49	2.50	2.49	2.84
若い世代の意見の自治体政への反映	2.24	2.15	1.94	2.36	2.19	2.00	2.00	2.00	2.10	2.50
自治体内交通環境の充実	2.20	2.68	2.09	2.70	2.50	3.00	2.17	2.00	2.50	2.52

	最大値
	最小値

地区別に満足度をみると「大蔵地区」が「地域社会による子育て支援」や「地域の防犯力の向上」、「自治体内交通環境の充実」で最大の満足度である一方で、「新たなビジネスの創出支援」や「自治体のイメージアップ(ブランディング)」が最低値であるなど、地区の課題がはっきりしていると考えられます。

【地区】重要度

	田端地区	一之宮地区	中瀬地区	大曲地区	岡田地区	大蔵地区	小谷地区	小動地区	宮山地区	倉見地区
自治体の地域経済の活性化	3.33	4.03	3.68	4.11	3.73	4.00	4.14	3.38	3.85	3.85
新たなビジネスの創出支援	2.90	3.58	3.06	3.34	3.16	2.80	3.82	2.85	3.30	3.26
自治体のイメージアップ(ブランディング)	2.81	3.52	3.34	3.70	3.41	3.60	3.44	3.31	3.28	3.53
結婚から子育てまでの切れ目ない支援	3.67	4.01	3.78	3.93	3.84	4.20	4.04	3.62	3.96	3.95
子どもの教育内容・環境の充実	3.48	4.13	4.00	4.23	3.91	3.80	4.37	4.15	4.24	4.11
地域社会による子育て支援	3.86	4.05	3.88	4.12	3.89	4.00	4.39	3.92	4.09	4.00
地域の防犯力の向上	3.90	4.16	3.91	4.41	3.91	4.20	4.08	3.77	4.20	4.08
若い世代の意見の自治体政への反映	3.14	3.83	3.70	4.00	3.59	4.00	3.88	3.46	3.79	3.70
自治体内交通環境の充実	3.70	4.06	3.87	4.27	3.88	3.80	4.18	3.77	4.03	4.05

	最大値
	最小値

地区別に重要度をみると、「大曲地区」や「小谷地区」は施策が重要と考えている人が多い一方で、「田端地区」はどの施策も他の地区に比べ重要でないと考えていることがわかります。

(16) 自由記述

■自由記述回答の施策単位での分類結果

基本目標	施策	回答数	割合
基本目標 1 地域全体で「さむかわ」の経済成長を支え、安定した「しごと」を育みます	施策 1 きめ細やかな支援による経済規模の拡大と産業集積の促進	96	17%
基本目標 2 「さむかわ」を知ってもらい、新しい人の流れを作ります	施策 2 アピールポイントの発見・創出と発信力の強化	94	17%
基本目標 3 子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくります	施策 3 結婚から子育てまでの切れ目のない支援の充実	167	30%
	施策 4 学力の向上と家庭教育支援の充実	29	5%
	施策 5 子育てを応援する地域社会の実現	32	6%
基本目標 4 発展し続けるまち「さむかわ」をみんなで作ります	施策 6 さらなる安心した暮らしのための防犯対策の充実	15	3%
	施策 7 まちづくり活動への若い世代の参加・参画の促進	6	1%
	施策 8 より快適な生活の実現に向けた交通環境の整備	99	18%
その他（各施策に当てはまらない回答）		26	5%
合計		564	100%

■自由記述回答の概要

【基本目標 1 地域全体で「さむかわ」の経済成長を支え、安定した「しごと」を育みます】

施策 1 きめ細やかな支援による経済規模の拡大と産業集積の促進

【ネガティブな意見】

① 買い物に関する意見

- ・ 大型商業施設の誘致を行うべきである（例 ララポート、テラスモール、イオン、コストコ、シリウス、イケア、コストコ、MAX バリュー）
- ・ 外国人観光客のインバウンド効果を見込んだ大型商業施設の開発を行うべきである
- ・ 生活必需品を買える店舗（スーパー、ホームセンター、衣料品店、本屋、コンビニなど）を増やし、若い人でも利用するような店舗（ダイソー、TSUTAYA など）を充実させることで、転居の際に寒川町を選択肢に入れる人が増える
- ・ 駅前にスターバックス等の学生や主婦がお茶できるところが欲しい

- ・ 寒川の10地区それぞれに歩いていけるスーパーなどがあれば、近隣の人達の交流があり、またそこから子育てなどの支援が広がるのではないかと
- ・ 移動販売（スーパー等の品物が買える）をしてほしい。子育てで中々出かけられない、最近だとコロナの影響で気軽に出かけられない等の諸事情でスーパーに行きづらい人に便利である
- ・ アレルギー持ちの子供に対応した飲食店が増えると、うちの様に（小麦、卵、乳）等のアレルギー持ちの家族が安心して利用できる。MAXバリュー等は対応食品を置いてあるので助かっている
- ・ 道の駅の誘致を行う

② コロナ対策に関する意見

- ・ コロナの影響で私生活が厳しい状況なので町独自の支援が必要ではないか？（例えば…補助金など）生活がしやすい町であれば人口は、減らないはずである
- ・ 給付金の手続支払いは早めをお願いしたい

③ 雇用機会の創出・生活支援に関する意見

- ・ 現状の寒川町の平均世帯年収もそうだが、まずは、きちんと納税する世帯を増やすか、そうした世帯が働く企業をもっと積極的に誘致する方が良い
- ・ 仕事を増やせるように、支援・誘致を強化する必要がある
- ・ 社会増を目指した取組が必要。子育てがしやすい町であっても就労環境が整っていないと大幅な改善は見込めない
- ・ 働きたい、働いているお母さんのための就労サポート（仕事を見つける際のハローワークのような）が必要である
- ・ 水道代が他の市より高い

④ 産業振興に関する意見

- ・ 新しいビジネスを始めることへの支援（スタートアップ、フリーランス支援 etc.）や、県央道を使った物流などのビジネス支援といった働く環境の強化が必要である
- ・ lotの町全体での活用が必要である
- ・ クローン技術を発展させる必要がある
- ・ 町の産業に関しては、寒川町はどのようなものづくりが盛んで有名なのかということを広めることによって雇用創出や経済の活性化がされるのではないかと
- ・ 現在、在宅勤務やオンライン授業をしているが、ネット状況が悪く、とても不便である

⑤ 宅地の開発に関する意見

- ・ 人口を増やすのであれば、マンションの建設は必須である
- ・ 34年前に建設された「ソフィア茅ヶ崎」や十数年前に建設された「湘南サザン260」の

様な大型住居施設を駅周辺に建てれば人口が増えるのではないか

- ・ 若い世代に住んでもらえるように寒川町で住居を購入したら、補助金を出す
- ・ 遊ばせている農地を宅地に変えれば良い

⑥ 駅周辺の活性化に関する意見

- ・ 寒川駅周辺の活性化が必要である
- ・ 駅周辺の近代化、駅ビルや IT 企業用のテナントビルが必要である

【基本目標 2 「さむかわ」を知ってもらい、新しい人の流れをつくります】

施策 2 アピールポイントの発見・創出と発信力の強化

【ポジティブな意見】

① 高座のころに関する意見

- ・ 「高座」のころ。いいブランドだと思う

② イベントの開催に関する意見

- ・ アークリーグの様なイベントを年に 1 回くらいやるのは、町の人々の士気が上がってとても良いと思う
- ・ びっちょり祭りや各企業の祭りも良い（麒麟ビバ、日産他）

③ 住環境に関する意見

- ・ 専門的クリニックが充実している（皮膚科・眼科・小児科など）
- ・ 圏央道が通ったことにより車は便利になった

【ネガティブな意見】

① 発信力の強化に関する意見

- ・ 町の魅力発信が足りない
- ・ メディアへのアピールを行う（撮影やスポーツイベントの開催協力）
- ・ 家で孤立しやすい親子には、さむかわ広報の情報が手助けになると感じている
- ・ 寒川町公式 YouTube の開設を行う
- ・ 若者はスマホでネット検索が主流であるため、町や地域からメールやアプリなどあれば町の行事イベントなどの情報が早く確実に伝わるのではないか
- ・ 子育て世代や若い人向けにサポートが充実していることがアピールできるよう寒川町のホームページのリニューアルを行う
- ・ 寒川町の飲食店を知る機会をもっと設けてほしい（例：グルメ情報誌掲載、メニュー紹介等）

- ・ 人を呼び込むためイベント、お祭りの時、中央公園の通りに飾り物等、何か目を惹くものを付け、SNS 等で話題になる取り組みをしても良いのではないかと。SNS の力がテレビより強大になっているため
- ・ Web（ツイッターやInstagram）での PR を行い、古い情報が多い寒川町内にある施設などの口コミを充実させる
- ・ 湘南だけではなく、県央地区方面へのアピールに注力する
- ・ 近隣の地域の茅ヶ崎市や藤沢市、海老名市には桑田佳祐、つるの剛士、いきものがかりといったインフルエンサーがいるが、寒川町はそういった部分が他の近隣の地域に比べて弱い。観光大使などを任命しても良いのではないかと
- ・ どういった世代をターゲットに呼び込みたいのかわからない。流行りや新しい物を取り入れることよりも、地域の横の繋がりが充実していることや、風土の魅力 UP をアピールしてみるべきである
- ・ 最近はブランドアップで町内のモノがきれいになったりしているが、町外から人を呼びこむだけではなく、今住んでいる人達がやっぱり寒川に住んでいたいと思えるような町づくりが必要である

② 自然・田舎に関する意見

- ・ この自然を売りにしていくことが他の市町村との差別化になるのではないかと（空地は草かりをして子供に開放したり、神川橋ふもとも少し手入れして川とふれあいやすくしたり、野鳥（キジや、イソヒヨドリなどいます）について公開したりなど）
- ・ アウトドアスポットを整備する（例：カヤックなど川を生かした遊び作り）
- ・ 農業体験や、田んぼアートのような地域に根ざした観光にもなるものやってみる
- ・ 町民へ格安で田畑を貸す（売る）
- ・ 横浜や茅ヶ崎の様に、ブランディングが進むと鼻にかける人が出てきたりするので、今のままの静かで素朴で過ごしやすい町が良い
- ・ 田園風景といった田舎というイメージが強い
- ・ 自然を生かした観光地を作る（農業体験、公園、アスレチック）
- ・ 高座郡という郡のイメージが恥ずかしい。馬鹿にされる
- ・ 他県や他市の人から言わせると、寒川町は田舎だと言われる

③ ゆるキャラに関する意見

- ・ ゆるキャラを載せた商品やイベント等で寒川町を知ってもらう事から始めてみては？しかし、他の市町村に比べると、寒川のゆるキャラは可愛いとは思えず、恐く感じる
- ・ つりてくんがあんまり良くないと思う

④ 寒川神社に関する意見

- ・ 人を呼び込むにあたって、寒川神社くらいしかアピールするものがない。寒川神社は誇りであるが、一辺倒になってはいけない
- ・ 寒川といえば寒川神社が有名であり、毎年年末年始には多くの人がおとずれるので、その時にもっと寒川にはこのようなものがあるとアピールできるものがあると良い
- ・ 寒川町を発展させるためには寒川神社を利用すべきである。集客率も良く、ただ参拝で帰らせるのはもったいない。宮山駅～寒川神社、もしくは寒川駅～寒川神社までの参道の開発を行う必要がある（例：鎌倉）
- ・ 寒川神社周辺地域を統一感がある形にし、見栄えのいい観光地にする
- ・ 寒川神社で有名人を呼んで節分豆まきをする

⑤ 高座のころに関する意見

- ・ 町ブランドである高座のころをメインテーマとした“食”の分野で、わいわい市と協力して食ブランドを広めていく等のイベントも良いのではないか
- ・ 高座のころ、みtainな抽象的なブランディングではなく、もっと意味のある具体性のある取り組みをして欲しい

⑥ イベントの開催に関する意見

- ・ 花火はまたやるのか…？ 春のアークリーグ、夏のプール、となると、秋、冬にもイベントがあった方が楽しめると思う。昔の河川敷での花火がすごく好きだった
- ・ 倉見桜緑道、緑地公園や寒川中央公園の桜がとても素敵なので、各々ではなく寒川町全体で協力し、もっと大々的に桜まつりを行い、地域の人のみならず県外からも人が来なくなるようなイベント等を行えたらいいと思う（せっかく IC があるので）。桜まつりは一例である
- ・ 祭りのあり方を再考すべきである。伝統を隠れ蓑にハッピを着た中年男性がコンビニの前に座り込み、チューハイを飲む、これは良い事とは思えない
- ・ ストリート系スポーツで町おこしが行われているが、老人の多い落ちついた町にそぐわないと思う
- ・ アークリーグといったマイナーなスポーツを呼び込んでも効果がない。「ベルマーレ平塚の選手を呼んでサッカー教室、DeNA ベイスターズの選手を呼んで野球教室を行う。サッカー場をつくり、Jリーグの公式戦を行う。野球場をつくり DeNA の主催試合を行う」の方がよい
- ・ ミス寒川コンテストを開催する

⑦ 特産品・観光地に関する意見

- ・ 名産品がハッキリしない。まずは1つのものに絞ってみてはどうか？

- ・ ご当地グルメがない、棒コロはやっつけであまり浸透していない
- ・ 梨・野菜・花などの特産品をアピールして人を呼び込む
- ・ 冬のひまわりといった観光地の発展を図る
- ・ 植物園等観光スポットを整備する
- ・ 観光客が泊まれるような立派なホテルを 1 つ作ることで外国人観光客も増えるのではないかな

⑧ その他の意見

- ・ 周りの市に比べて、特色が少なく、人口も少ない「町」なので、やっぱりアイデアが必要だと思う
- ・ 外部の魅力的だと思われる町、市を研究すること、そして魅力的な町にしていくことが必要。
- ・ 他の市や町と比較して支援が少ない
- ・ 「寒川といったらこれ！」と思えるような”魅力ある何か”を創れば、もっと人が集まるのではないかな。例えば、「茅ヶ崎といったら、海岸、サザン、おしゃれな街並」など
- ・ もう少し湘南感を出す
- ・ シニア世代と保育園の共同経営など考えて欲しい。
- ・ SNS にのせたいような場所や、店をつくる
- ・ アニメとコラボして聖地巡礼化する

【基本目標 3 子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくります】

施策 3 結婚から子育てまでの切れ目ない支援の充実

【ポジティブな意見】

① 相談体制・精神面のサポートに関する意見

- ・ とても住みやすく、役場の方たちもとてもフレンドリーで子育てしやすい

【ネガティブな意見】

① 結婚に関する意見

- ・ 田舎+工場勤務だと近所だと出会いがないため、成人（20代～30代）が触れ合える場所が欲しい
- ・ 町コンを開くと良いのかもしれない。私の弟は小田原の町コンで伊東の女性と出会い結婚した

② 妊娠・出産に関する意見

- ・ 妊婦検診にかかる費用の補助拡大（免除が望ましい）

- ・ 出産費を町で負担する
- ・ 産婦人科を充実させて欲しい、妊娠後の経過観察所が少ない
- ・ 産婦人科が少なく、あったとしても車でないと行けない距離のため、駅近で開院して頂ける様な環境を整えて欲しい
- ・ 里帰り出産のレンタルサービスやタクシーチケットを支給して欲しい
- ・ 産後デイサービス、ボランティアを充実して欲しい
- ・ 定期的に町で行える婦人検査の支援があれば良い
- ・ 未婚者だけでなく、町内全ての女性に対して定期検査等の婦人科の病気への支援対策などがあれば嬉しい
- ・ 不妊治療に助成金をもっと増やして欲しい。美容師をしているのですが、子供いないお客様がとても多く、皆お金が続かなくてあきらめたと言っている。体外受精はとても高くなかなか手が出せず、タイミング治療や人工授精でとどまっているとあつという間に40代なんて方が多数である。最初から高度の治療ができれば良い
- ・ 出産のお祝い金や、不妊治療費の負担減少等の経済的援助をして欲しい

③ 保育園に関する意見

- ・ 近くの保育園に申請しても入れない。そういった待機児童がいなくなり、100%入れるような仕組みづくりなどを命題的にすれば人は集まるのではないか
- ・ 保育園、学童に入れない待機児童へのフォローの選択肢が少ない(ファミサポしかないと言われ、と学童に子供が入れない時、町役場の方に言われた)
- ・ 保育園の無償化をして欲しい
- ・ 保育士、介護士の賃金値上げをして欲しい
- ・ 北部地区に保育園や幼稚園が少ない
- ・ 駅近くに子どもを預ける場所があると、寒川町の定着がさらに進む。現在は駅遠くにしか預ける場所がないため、不便な印象を受ける
- ・ 病児保育、休日保育などをどこでも行ってくれないため、年末年始やお盆等長期休みに入る時出勤になってしまうサービス、販売等の仕事の業種は非常に厳しい
- ・ 保育園を24時間化して欲しい
- ・ 一時預かりを受け入れやすくする(リフレッシュ・産後などでも)
- ・ 障害者ではないが、成長が遅く今後のことが不安と言う理由から保育園を落された。別の市では、落とす理由にはなっていないと言われた。成長が遅い子や障害者でも通える保育園を充実させて欲しい
- ・ 保育園によって差があり、保育課も職員により差がある
- ・ 寒川保育園等の大きな園は子どもの人数が多すぎてイメージがあまり良くないため、子どもを入園させるのもやめた。また私自身保育士で働こうと思い見学してみたが、環境が良いとは言えなかった。無理のない人数で運営できる園が増えると良い

④ 相談体制・精神面のサポートに関する意見

- ・ 園やコミュニティセンターなど、子育て世代が集まれる（相談できる）場所が増えると横のつながりも持て、安心感や満足感が得られる
- ・ 幼児向けイベントの拡充、親子向けの体験イベントの拡充
- ・ 小児医療費の拡充、新生児の保健師さんの訪問の回数を増やす（現状はあいさつ程度、名前も覚えられない、継続して悩みを話せる間柄がつくられれば良い）
- ・ 子供を産んだばかりの人に対する相談が気軽に出来るような取り組み、相談窓口の充実化をすべき（スカイプや電話等、予約制…etc.）

⑤ 子育て支援・児童手当に関する意見

- ・ 中学卒業まで子供手当が支給されるが、高校生になってもその支援があれば生活が大変な人でも少しは助かるのではないか
- ・ 子供手当が少ないのは仕方ないが三番目の子でも、上の子が学校へ上がると保育料がかかるようなケチくさいやり方が嫌い。以前、上の子が18才になっても下の子が1番目の子と同じ扱いになるとも言われた
- ・ 子育てに必要な消耗品等（オシリふき、オムツ、ベビーグッズ等）の支給、又は補助が必要である
- ・ 小さいお子さんの誕生日に寒川町共通商品券を支給する
- ・ ファミリー世帯が一軒家を建てる時、補助した方が良い
- ・ 子育て世代を優先入居させるための町営住宅を作り、町外からの応募を募る
- ・ コミュニティバスも親子連れに回数券配ってあげた方が良い
- ・ 多児（双子・三つ子）等に特別な支援があっても良い
- ・ 男性の育休取得の推進環境を整える（会社側より強制的に有休を使わせる環境が必要）
- ・ 子育てに必要なもの（ベビーカー等）で、高価で手に入りにくいものを、子が成長していらなくなった家庭に提供してもらい、町から無償で提供するような制度（できるなら、提供してくれた人に商品券（町や商店街）を送り、地域活性化につなげる）が欲しい
- ・ 予算算出する為に不必要な工事計画は白紙にし、全てのムダな予算を子育てに回す

⑥ 教育に関する意見

- ・ 大学の学費の助成があったら良い
- ・ 中学校給食制度の導入をすべき（実際にそれを見込んで綾瀬に転居した知人がいた）
- ・ 小学校、中学校の給食費無償化をすべき
- ・ 学校給食センター構想の中止（食育）

- ・ PTA 活動等は仕事に影響が出ない活動にしてほしい

⑦ 医療・医療費助成に関する意見

- ・ 子どもの医療費補助を中学卒業までとし、収入限度額をもう少し引き上げる
- ・ 20 才までの医療費保証をして欲しい
- ・ 出産や夜間診療等を寒川町でできるようにする
- ・ 小児科がもう少しあると良い(特に玉井に集中している)

⑧ その他の意見

- ・ 駅周辺の構想を家庭向きにしたらどうか
- ・ 子育てをするなら、自然と触れあえる場所が多いところが良い
- ・ 空き家が増えている中、農地をへらし、宅地化し密接した住環境は、子育ての環境としてストレスフルではないか。ゆとりのある区画整備など柔軟に考えるべき。寒川ならではの住環境を考えてほしい
- ・ 障害者（児）が家族にいるが、手当やタクシーチケットが寒川町はない
- ・ リタイヤした保育士、教員等、子供好きな人々、子供にかかわってきた専門家を再雇用。ボランティアにするのではなく、ポイント還元制度にして、自分がサービスを受ける側になった際(医療、介護、福祉サービス)の積立にすることで、人のため自分のために働ける制度にしてはどうか(SNS の活用等)
- ・ 町の“パパ・ママ健診”というものがあったが、親が 40 歳までだった為（現在の状況は知らないが）自分は 1 回の受診しか出来なかった。そのためこれからは晩婚、高齢出産もある為、“親が 40 まで”とは決めず、たとえば子供が 15 歳までの児童を扶養している親は健康診断が町で格安に実施できるようにしてくれると助かる
- ・ シングルマザーやシングルファザーの人への支援を充実させる
- ・ 母子家庭に対して、農業と住宅提供で支援できないか。育てやすい野菜（コストももちろん）などを Pickup し、調理法（店頭で実演）なども含めて（レシピ）販売したり、加工して販売する
- ・ 母子家庭だが、2019 年 12 月に介護福祉士として働いていた介護施設を退職し、現在の収入は、以前の半分である。2020 年 10 月以降の児童扶養手当では受けられないと役場の方に言われた。コロナ感染症問題の事もあり、去年の収入ではなく現在の収入で検討して頂きたい
- ・ アンケートの内容が今後、結婚、子育てを考えている人を中心に考えられているが、現在結婚し、子育て中の意見を伝えるアンケート項目が少ない

施策4 学力の向上と家庭教育支援の充実

【ネガティブな意見】

① 学校教育に関する意見

- ・ 子供の学力を上げる工夫（学校教育）
- ・ 学校の特色化（寒川独自の教育＜レベルUP＞など）
- ・ 以前住んでいた奈良県に比べ、小学校、中学校の教育レベルが高くない。宿題も少ないし、大人の人数が足りない。公立の小学校でしたが、小学1年生になる時、幼稚園の先生が小学校の授業支援を担当していました。また保護者もボランティアで得意な授業をしていた（音楽や算数、英語など）。ひとつのクラスに担任の先生・幼稚園の先生（副担任）・保護者（1～2人）、大人の3～4人で授業していた
- ・ 小中学校の学区の見直しをする。学校により、クラス数、クラスの人数に差がありすぎるように思われます。40(39)名学級と、30名学級では、目の行き届き方も変わる
- ・ 質の高い教師を招聘し公共教育機関の質向上を図る。現在の小・中学校は教師の質が悪すぎる。質の高い高校等へ進学出来ない要員のひとつ。だから子供を持つ友人に寒川を進める事は絶対に出来ない
- ・ 小学校、中学校の施設や職員さんへの予算を増やすべき。中学校では図書館が常に開いている、司書さんが常にいるなど。小学校、中学校とも、スクールカウンセラーはもっと学校にいる時間を長くし、必要な人が気軽に相談できるようにするとよいと思う。他の市町村に比べ、寒川は軽視していると感じ残念である
- ・ 入学させたいと親が感じるような学校の誘致、もしくは授業カリキュラムを実施する学校をつくる
- ・ 県教育委員会と連携し、寒川高校の進学校化を計る

② 教育施設に関する意見

- ・ 教育環境の充実を図る。働いている親は子供の勉強をみてあげる時間が足りない。学童＋塾などハイブリットな教育施設があると安心して子どもを預け仕事ができる
- ・ 本屋、文具屋が町内に無くなってしまった為、学力向上の為にも教育につながる店、子どもが興味をもつ博物館の様な場所があると良いと思う
- ・ 町民割引のある学習塾、スポーツ教育など

③ その他、教育に関する意見

- ・ 小学校を休む時、ノートを使う昭和なシステムはやめた方が良い。何の為のマチコミ登録なのか
- ・ 18 歳まで学費無料化
- ・ 私立中高一貫高の誘致

施策 5 子育てを応援する地域社会の実現

【ポジティブな意見】

① 屋外施設に関する意見

- ・ 私が子育て 1 年目のときは（実家が遠いので）社協の方の子育てサロン、巡回広場に助けられた

② 屋内施設に関する意見

- ・ 北部公民館のお話よみきかせ等、社会のつながりがある所にとにかく行ってみたい！という思いが強かった

【ネガティブな意見】

① 屋外施設に関する意見

- ・ 寒川中央公園のような大規模な公園は非常に有意義だが、もっと地域の子供達が身近で遊べる中・小公園を充実させてほしい。都心に比べ、交通量も少ない環境であるけれど、道路で遊んでいる子供達をよく見かける
- ・ 中央公園以外遊具がない
- ・ 横浜市のランドセル置き場のような、放課後の児童の居場所をもっと敷居の低いものにする（利用したい人は誰でも利用でき、費用も低く）
- ・ 茅ヶ崎、藤沢の様に自然を活かした公園を作るべき（例、少年の森や市民の森など）
- ・ キャンプが出来る施設や自然とふれあえる場所がない

② 屋内施設に関する意見

- ・ 昔行っていたような町民ホールによる子供向けの劇や映画上映を増やす
- ・ 小さな子どもを連れて行けるような所（歩く前くらいの月齢の子）が少ないのでそのような施設があると良いと思う
- ・ 子育て支援センターが老健の 2 階で雰囲気的にも行きにくく、老朽化もしている
- ・ 子育て支援センター以外にも、常時行ける児童館などがあると良い。平日のみではなく、土日も開館すると、父親同士のコミュニケーションもとれて、より良いと思う
- ・ 小田原にある UME10(おだわら市民交流センター)のような新しく、人が集まりや

すい施設があると良い。子育てをしていて、子育て支援センターが利用しにくい場所にあるので中央公園、役場、図書館近くにすべて集約して欲しい

- ・ 愛知県豊橋市にある、子供未来館「ここにこ」のような子育て施設をぜひ作ってほしい。今の老人に対してお金をあてるのではなく、これからの未来を担う子供たちのための施設を作ってほしい。中央公園の前の土地を買い取り、施設を作るなど
- ・ 学校終わりの子供達が集まって楽しめるようなコミュニティセンターの充実

③ イベントに関する意見

- ・ 体育大会、盆踊り、どんどやきなど、地域の行事がなくなっているように思う。外から転入してきた人の苦情もあるようだが、苦情言ったもの勝ちになっていると思う。外から来た人は、そういうことがあると知っていて来るのでしょうか。なくすのは簡単だが地域の交流は大事だ。地域の交流が、子育てのしやすさにつながるのではないかな？
- ・ 地域ごとの子育て世代の交流する場づくり(魅力的なイベントを開催する)

④ 住民交流に関する意見

- ・ 寒川町は税金が高い割に、住民への負担が大きい。衛生委員、町内会組長などを一度経験すると、若い世代はこの町から離れてゆくと思う
- ・ その地域の自治会に入っていないと近所の持家の人達に差別された経験があるため、小さい子供を育てている若い夫婦にとっては、どのように地域の人達と町ぐるみの付き合いをしたら良いか分からない
- ・ 世代を隔たることなく、お年寄りも子供達ももっと文化や芸術に関われる環境を作ってほしい
- ・ こども園と老人保健施設を併設する。今も交流する機会は設けられていると思うが、当たり前で生活することが大事。一緒に本を読んだり、折り紙したり、料理をしたり、遊んだり、思いやりの心が自然と育つと思う。ご老人も得意なことを教えたり、寄り添うことが当たり前に出たらと思う
- ・ 学力を整える前に内面を育てる（非認知能力）事を地域で大事にした方が良い。子供の活動（遊びが学びに繋がる）を尊重した取り組みをして欲しい。そして、自然体験活動で地域交流が図れるのではないかな（自然体験に年齢は関係ないので）
- ・ 「ファミサポ」の一步先で、公園や集会所等で見守りの大人と一緒に遊ぶ、勉強する（男性や、少し高齢の人でも育児参加）

【基本目標 4 発展し続けるまち「さむかわ」をみんなでつくります】

施策 6 さらなる安心した暮らしのための防犯対策の充実

【ポジティブな意見】

① 治安に関する意見

- ・ 住んでみて感じた事は、治安はいい方だと思う

【ネガティブな意見】

① 施設、設備に関する意見

- ・ 防犯面が充実していない
- ・ 開放的な雰囲気のお店、商店街にすることで、子どもたちの見守りや防犯にもつながる
- ・ 町中が暗い。夜帰ってくる時、街灯が暗い。学生時代から学校や部活動帰りに、暗くて怖かった。道も狭く、女性 1 人でも住みやすい環境があると良い
- ・ 警察署を作ってほしい

② その他、防犯に関する意見

- ・ 治安向上（不審者情報が多過ぎる。寒川町は治安が悪いイメージ）
- ・ ホームレス、ゴミ屋敷（ゴミの持ち去り）、不審者への対策（罰則）を強化
- ・ 森や林が整備されておらず、犯罪が起きるのでは？と思う時がある

施策 7 まちづくり活動への若い世代の参加・参画の推進

【ネガティブな意見】

① 若い世代からの意見収集に関する意見

- ・ 若い世代でのイベントや町への要望、町政に求めるもののアンケートの実施（若い世代は町政に参加しても意味が無いと思っている？かもしれないので実現可否のリアクションだけでも答えて欲しい。）
- ・ 高齢者がいつまでも偉そうにしてないで、若い世代の考えに耳をかたむける
- ・ 若者が参加しやすい時間帯、町内イベント（町のお店と協力する）を実施し、その場で意見、アンケートの回収。町政に反映されている意見は高齢者がメインのイメージ。民主主義は少数意見が反映されづらいが、寒川にこだわって暮らしている若者の意見は重要と思う

② 若い世代の参画に関する意見

- ・ 寒川町は税金が高い割に、住民への負担が大きい。衛生委員、町内会組長などを一度経験すると、若い世代はこの町から離れてゆくと思います（施策 5 と重複掲載）

- ・ 良い人が多いと思うので、企業や学校、幼稚園など巻き込んだイベントの方が、子どものいる家庭も参加しやすく、楽しく見えるのではないかと

③ その他の意見

- ・ 今は高齢者の声が大きすぎる。日本全国で言えることだが。施策をコストパフォーマンス良く行っていくことを考えると、若年層への投資が必要。教育と文化（趣味）のバランスを取る

施策8 より快適な生活の実現に向けた交通環境の整備

【ポジティブな意見】

① 道路に関する意見

- ・ 道が狭い場所が少なく、渋滞がほぼ無いのは楽
- ・ 渋滞も少なく高速道路が利用しやすいので交通の便が良く住みやすい

【ネガティブな意見】

① 鉄道に関する意見

- ・ JR 相模線の複線化
- ・ 相模いずみ野線の倉見延伸を行うこと
- ・ 横浜市営地下鉄や相鉄線の乗り入れ
- ・ 東海道新幹線の駅設置
- ・ 新幹線はいらないので、生活に必要な電車の充実を進めて欲しい

② バスに関する意見

- ・ 6～7時台、21～23時の本数を増やして欲しい
- ・ 寒川駅から商業施設までのシャトルバス運行
- ・ 空港までのシャトルバス運行
- ・ 寒川駅から隣の大学までのシャトルバス運行
- ・ 深夜時間帯の湘南台、海老名、茅ヶ崎からのバスの運行をして欲しい
- ・ コミュニティバスも親子連れに回数券配ってあげた方がよい。利用者は高齢者が多い

③ 道路に関する意見

- ・ 歩道がないので子供を歩かすのに不安である
- ・ 産業道路以外の歩道が狭い
- ・ 旭小学校への通学路は車道にガードレールも歩道もない場所があり危険である
- ・ 寒川駅から香川側の最初の踏み切りや農協のある交番周辺が自転車だと危ない印象
- ・ コミュニティバスのバス停のせいで道路でベビーカーを押しているお母さんがよく見

かけられる

- ・ 住宅地の歩道の整備を進め、バリアフリーでベビーカーや子どもたちの通学に安全に配慮した歩道の確保
- ・ 歩道を広く平らにして欲しい。寒川町は古い歩道が多く、ベビーカーや子どもを連れて歩くのが大変だと感じる事がある。「子どもと歩きやすい町」になって欲しい
- ・ 道が狭いの一方通行にせず、また自転車や歩行者もギリギリで、これでは子供や年寄りが安心、安全な環境ではないと思う

④ その他、交通機関に関する意見

- ・ 駅駐輪場の無料化による利用促進
- ・ 車の免許をもつ人が少ないので病院に行く為の交通手段を、タクシー割引きなどを設けること

その他、施策に分類されない意見

【ポジティブな意見】

① 市政に関する意見

- ・ 全国3位、東日本で町民の一番多い寒川ですら、危機感を持って取組んでいる姿勢は、とても良いと思う

【ネガティブな意見】

① 市政に関する意見

- ・ 寒川町は近隣市町にくらべ行政仕事が遅い
- ・ 子を産むも産まないも、一つの個性である。そちらばかり優先するのも違うと思う
- ・ 各地或に出向いて役場職員が町民との意見交換等を気軽に言いあえる時間等を考える事も良いと思う。机の上のことだけでなく外に出て町民の声を聞く事に意義があると思う
- ・ 行政のデジタル化(アンケートは Web でできるようにならないか。一通ずつ開封して Excel 転記する作業を想像するだけで胸が苦しくなる)
- ・ コロナで大変な時にこのアンケートをした理由が分からない。それ程、急ぎ必要な事柄なのか
- ・ 朝早くから町長決めの選挙カーが町内を回っていたのを思い出したが、決まった途端、挨拶もなしに日常が過ぎていくのは釈然としない所がある。あれだけ声をかけて下さっていたのに、そういう小さな所に丁寧さが欠けているのが見えた気がする
- ・ お金が欲しいのはよく分かるが、このご時世では、神社、神苑も閉鎖されてはいかうか

- ・ 「町」より「市」の方がイメージがよい。茅ヶ崎市と合併するのがいいと思う。(茅ヶ崎市は行政がしっかりしている)。何より職員たちのやる気も大切だと思う。役場に勤めている方と話したときに、「もっと活気のある町がいいなあ〜」と言ったら、「活気のある町になったら仕事が増える」とか、「のんびりしたこの感じがいいの」みたいなことを言っているのを聞き、寒川町の未来は最悪だと思い、引越してきたことに後悔しかない

② 施設、設備に関する意見

- ・ 駅前のポストを撤去して、コインロッカーや宅配ボックス（PU・DO ステーション）を設置してほしい
- ・ 駅にあるてんとうむしのポストは必要か。ポストは住民の何割の人が使い、安心につながっているか。少なくとも私は、出勤前にネガティブな言葉が並んだものを見たくない。一部の人の考え対応は、見えないところでやってほしい
- ・ 土地がたくさん余っていきそうなので、大規模なドッグランを作るなど動物に優しい町づくり
- ・ 役場の出張所を寒川駅前に設置して欲しい。役場が駅から遠い

③ その他の意見

- ・ 自然災害（相模川氾濫）等への対策をお願いしたい
- ・ 空家や空アパートをみかけるが、このような家を町で寒川町に家を建てる人に 1 年を上限として家賃なし、クリーニング&修理代のみとかで貸せば空家も痛むことなく維持できるのではないか
- ・ 老人が病院ではなく集まれる場所を作る
- ・ 外国人を積極的に受け入れ、人口を増やす
- ・ 寒河江市とのもっと密接な交流
- ・ 10 階以上のマンションは反対である 同世代が急に増えるのは保育園等長期的に見て良いことはない

以上

第Ⅱ部 窓口アンケート調査 (転入者・転出者向け)

窓口アンケート調査の概要

1) 調査の目的

寒川町に転入した人、寒川町から他市区町村へ転出した人を対象に、転入・転出をする理由やきっかけをうかがい、寒川町への定住促進のためのニーズを掘り起こす事を目的としています。

2) 調査対象・抽出方法

調査対象：

- ・寒川町へ転入する方
- ・寒川町から他市区町村へ転出する方

3) 調査内容

寒川町へ転入・転出する理由やきっかけ、居住地として考慮する条件についてうかがいました。

4) 調査方法、調査期間

- ① 調査方法：引越しの手続きの際に窓口でアンケートを配布
- ② 調査期間： 5月1日から6月16日

5) 回収結果

転入者向け：42世帯

転出者向け：53世帯

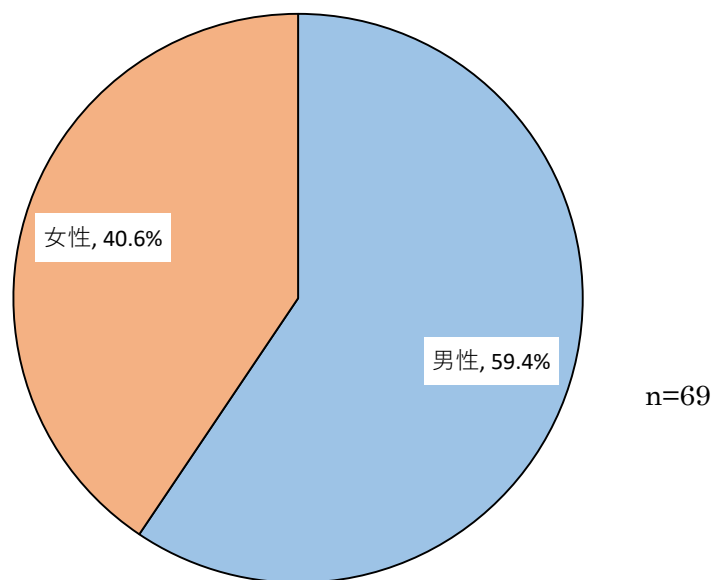
6) 留意点

- ① 結果は回答者数で表示しました。
- ② 二重回答や判読不能の回答などは、無効としています。

回答者（転入者）の属性

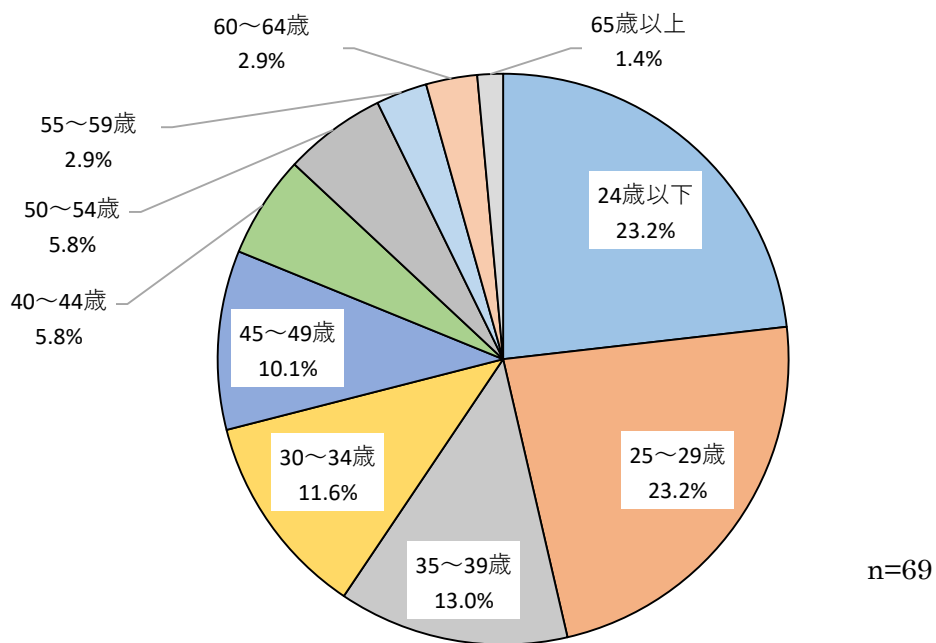
F1.性別

性別でみると、「男性」が 59.4 ポイントで、「女性」が 40.6 ポイントです。



F2.年齢

年齢別にみると、「24歳以下」「25～29歳」が23.2ポイントと最も多く、次いで「35～39歳」が13.0ポイント、「30～34歳」が11.6ポイントと続いています。

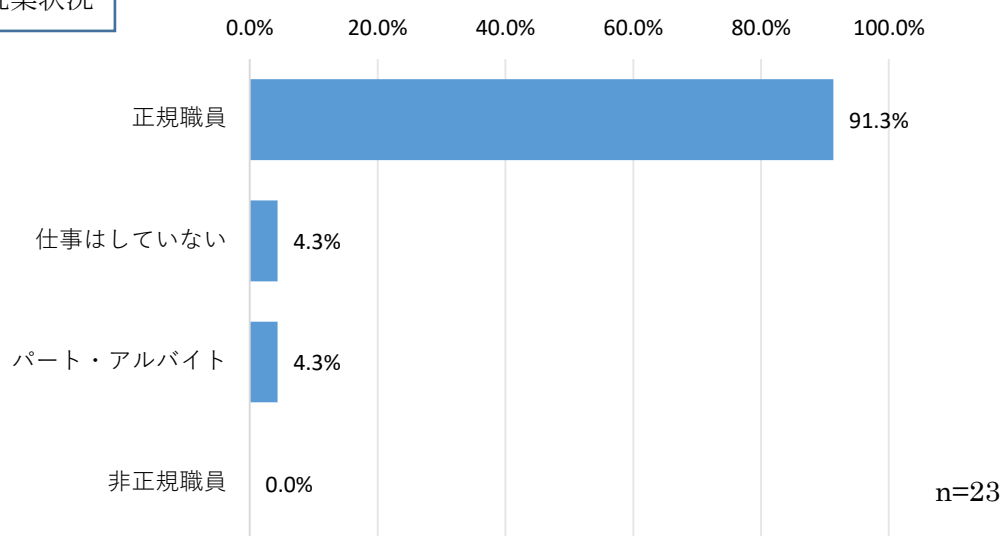


F3.結婚している夫婦の就業状況

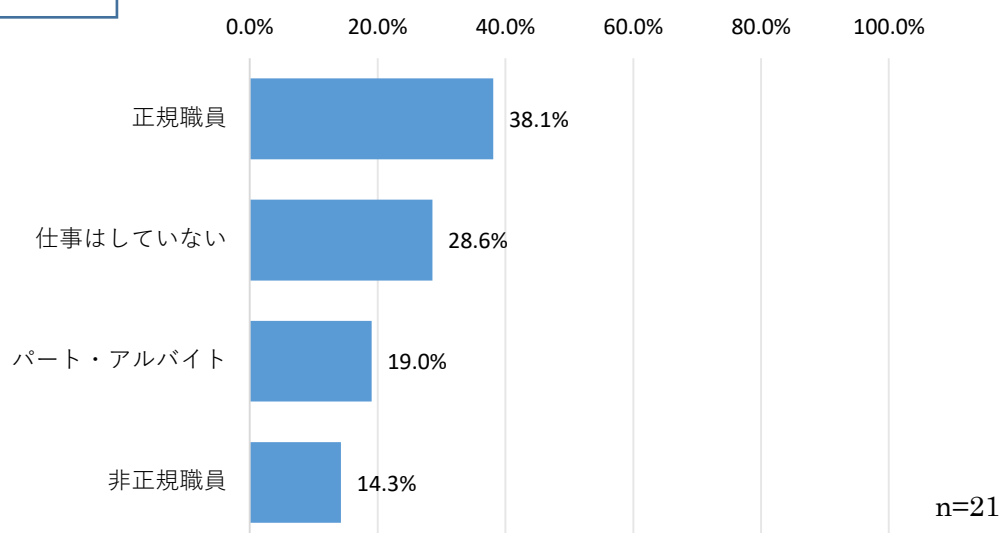
夫の職業別にみると、「正規職員」が 91.3 ポイントと最も多く、次いで「仕事はしていない」「パート・アルバイト」が 4.3 ポイントと続いています。

妻の職業別にみると、「正規職員」が 38.1 ポイントと最も多く、次いで「仕事はしていない」が 28.6 ポイント、「パート・アルバイト」が 19.0 ポイント、「非正規職員」が 14.3 ポイントと続いています。

夫の就業状況

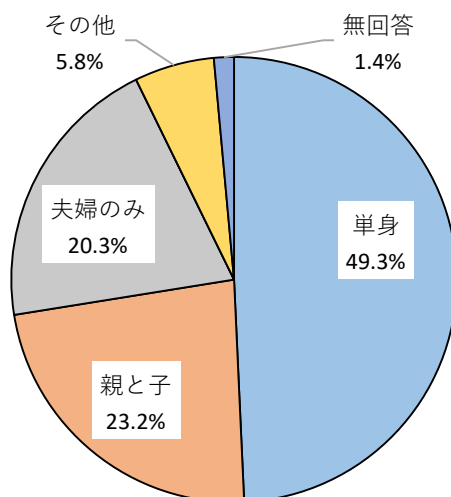


妻の就業状況



F4.家族構成

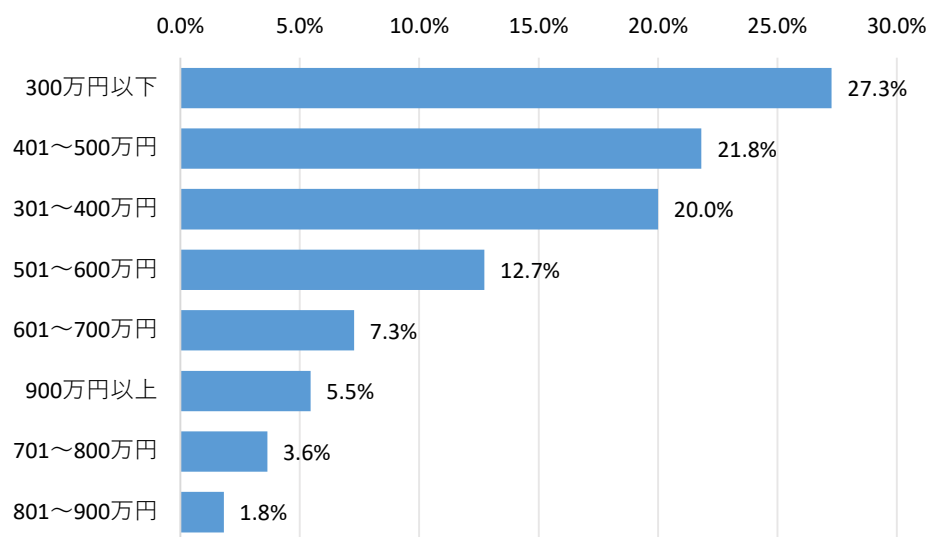
家族構成別にみると、「単身」が 49.3 ポイントと最も多く、次いで「親と子」が 23.2 ポイント、「夫婦のみ」が 20.3 ポイントと続いています。



F5.世帯年収

n=69

世帯年収別にみると、「300 万円以下」が 27.3 ポイントと最も多く、「401～500 万円」が 21.8 ポイント、「301～400 万円」が 20.0 ポイントと続いています。

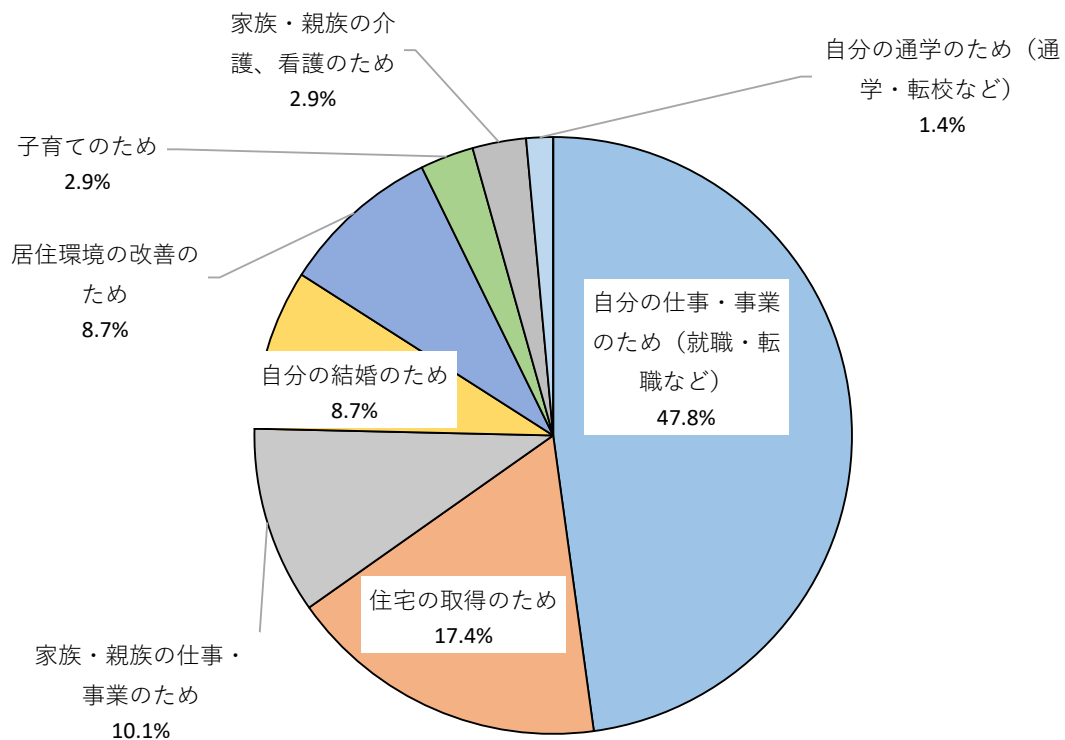


n=55

調査結果

(1) 寒川町に転入したきっかけ

問1. 寒川町に転入される理由（きっかけ）を教えてください。（3つまで複数回答可）



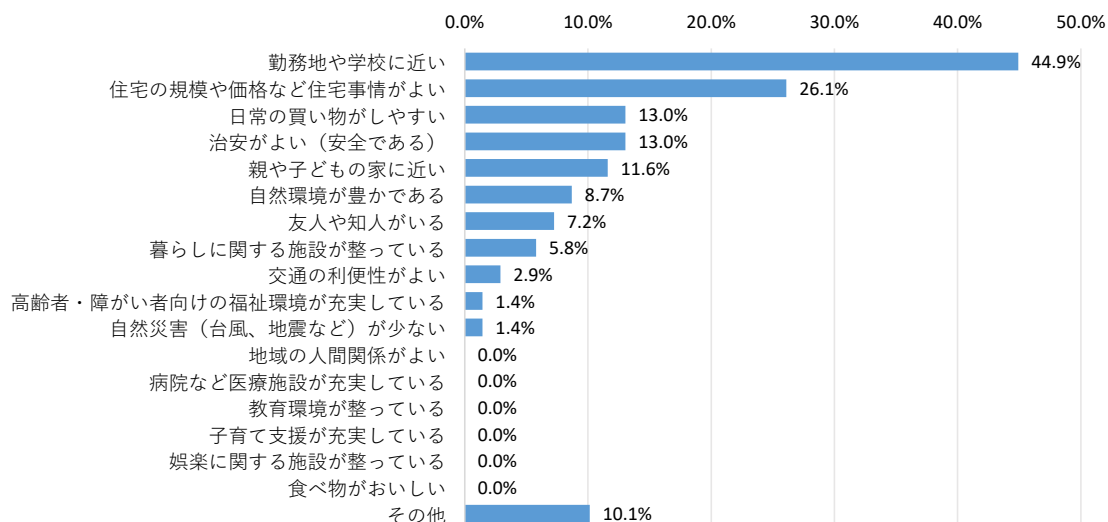
選択肢	回答数	割合
自分の通学のため（通学・転校など）	1	1.4%
自分の仕事・事業のため（就職・転職など）	33	47.8%
自分の結婚のため	6	8.7%
家族・親族の仕事・事業のため	7	10.1%
子育てのため	2	2.9%
子どもの教育のため	0	0.0%
家族・親族の介護、看護のため	2	2.9%
住宅の取得のため	12	17.4%
居住環境の改善のため	6	8.7%
その他	9	13.0%
無回答	0	0%
回答者数	69	100%

「自分の仕事・事業のため（就職・転職など）」と回答した人が 47.8 ポイントと半分近くを占めていることが分かります。

(2) 寒川町を選んだ理由

問2. 寒川町を居住地として決める際に、優先した事項は次のどれですか。

(3 つまで複数回答可)

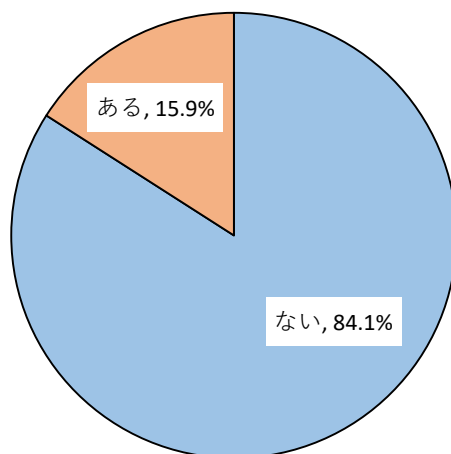


選択肢	回答数	割合
自然災害（台風、地震など）が少ない	1	1.4%
治安がよい（安全である）	9	13.0%
自然環境が豊かである	6	8.7%
食べ物がおいしい	0	0.0%
住宅の規模や価格など住宅事情がよい	18	26.1%
勤務地や学校に近い	31	44.9%
交通の利便性がよい	2	2.9%
日常の買い物がしやすい	9	13.0%
暮らしに関する施設が整っている	4	5.8%
娯楽に関する施設が整っている	0	0.0%
子育て支援が充実している	0	0.0%
教育環境が整っている	0	0.0%
高齢者・障がい者向けの福祉環境が充実している	1	1.4%
病院など医療施設が充実している	0	0.0%
地域の人間関係がよい	0	0.0%
親や子どもの家に近い	8	11.6%
友人や知人がいる	5	7.2%
その他	7	10.1%
無回答	4	5.8%
回答者数	69	100.0%

「勤務地や学校に近い」と回答した人が 44.9 ポイントと半分近くを占めていることが分かります。

(3) 寒川町のブランドマークやスローガン

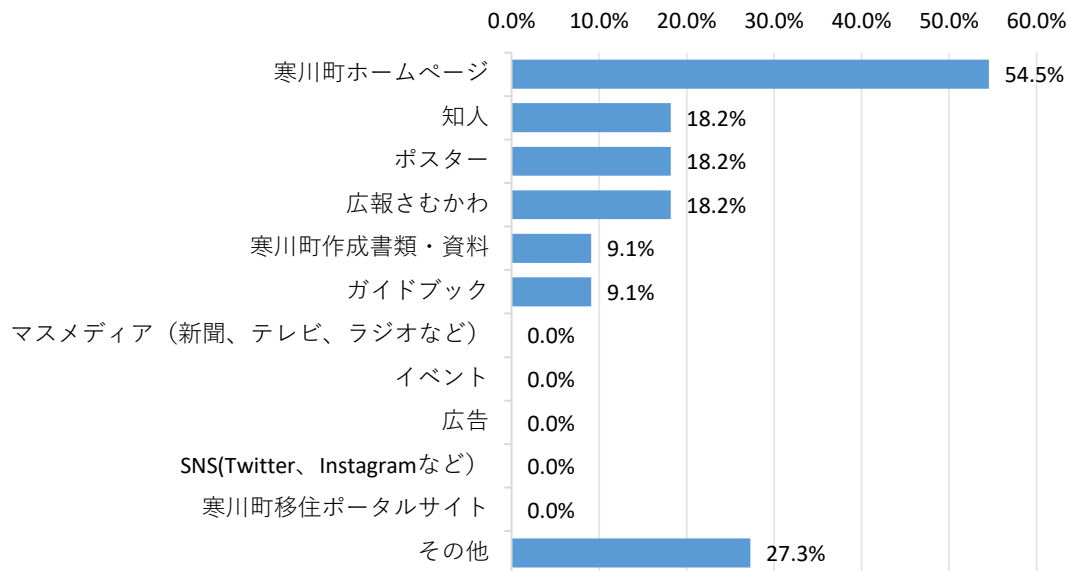
問3. 寒川町のブランドマークやスローガンを見たり聞いたりすることがありますか。



選択肢	回答数	割合
ある	11	15.9%
ない	58	84.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	69	100.0%

「ない」と回答した人が 84.1 ポイントと、多くの人が寒川町のブランドマークやスローガンについて見聞きすることがないとわかります。

問4. 問3で「1.ある」を選んだ方へお聞きします。何で知りましたか、
あてはまるものを全て選んでください。

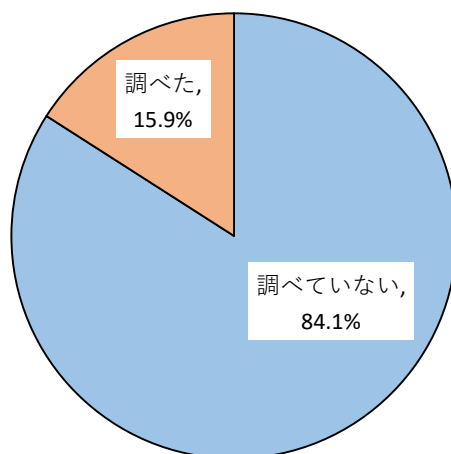


選択肢	回答数	割合
寒川町ホームページ	6	54.5%
寒川町移住ポータルサイト	0	0.0%
広報さむかわ	2	18.2%
SNS(Twitter、Instagramなど)	0	0.0%
ガイドブック	1	9.1%
ポスター	2	18.2%
寒川町作成書類・資料	1	9.1%
広告	0	0.0%
イベント	0	0.0%
マスメディア（新聞、テレビ、ラジオなど）	0	0.0%
知人	2	18.2%
その他	3	27.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	11	100.0%

「寒川町ホームページ」と回答した人が54.5ポイントと最も多く、次いで「知人」「ポスター」「広報さむかわ」が18.2ポイントと続いています。

(4) 転入前事前調査

問 5. 転入前に移住ポータルサイトなどで寒川町のことを調べましたか。

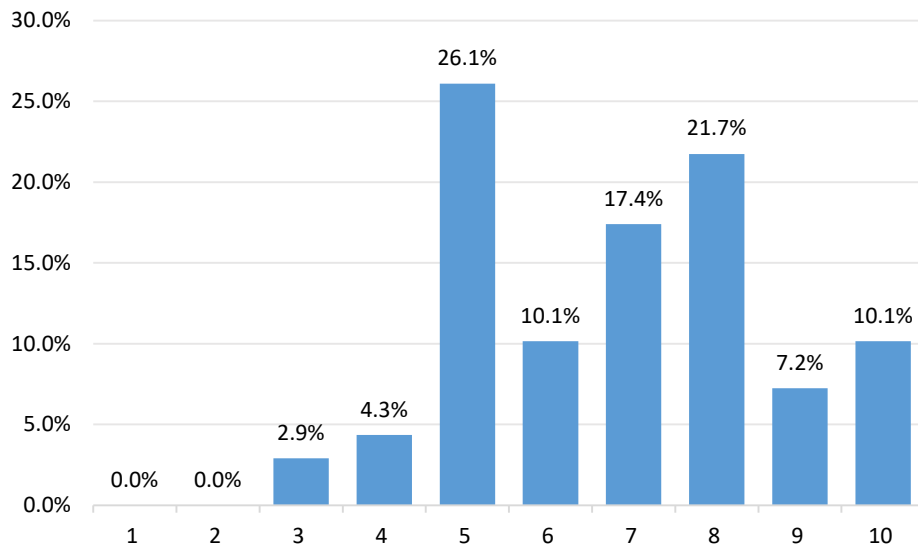


選択肢	回答数	割合
調べた	11	15.9%
調べていない	58	84.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	69	100.0%

「調べていない」と回答した人が 84.1 ポイントと、多くの人は転入前に移住ポータルサイトなどで寒川町の事を調べていないとわかります。

(5) 寒川町のイメージ

問 6. 寒川町のイメージの良い悪いを、10 段階で教えて下さい。



	悪い		
	選択肢	回答数	割合
	1	0	0.0%
	2	0	0.0%
	3	2	2.9%
	4	3	4.3%
	5	18	26.1%
	6	7	10.1%
	7	12	17.4%
	8	15	21.7%
	9	5	7.2%
	良い		
	10	7	10.1%
	無回答	0	0.0%
	回答者数	69	100.0%

「5」と回答した人が 26.1 ポイントと最も多く、次いで「8」が 21.7 ポイント、「7」が 17.4 ポイントと続いています。

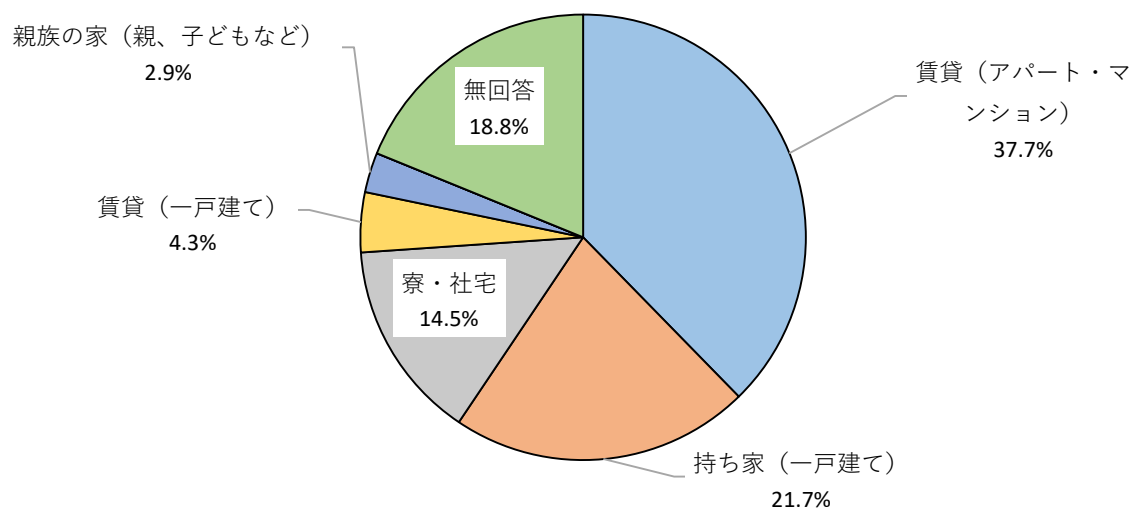
問 7. あなたの持っている寒川町のイメージを教えてください。

「自由意見一覧」

- ・ 静かな町
- ・ 穏やか
- ・ 落ち着いている
- ・ のどか
- ・ のんびりしている
- ・ あたたかい
- ・ きれい
- ・ 住みやすい
- ・ 住宅地
- ・ 神社
- ・ 自然豊か
- ・ 立地がいい
- ・ 交通の便がいい
- ・ 新幹線が来そう
- ・ 神奈川の真ん中
- ・ かわいい街
- ・ 財政に余裕ある
- ・ 日本で三番目に人口が多い
- ・ 治安が悪い
- ・ いなか

(6) 転入後の住居について

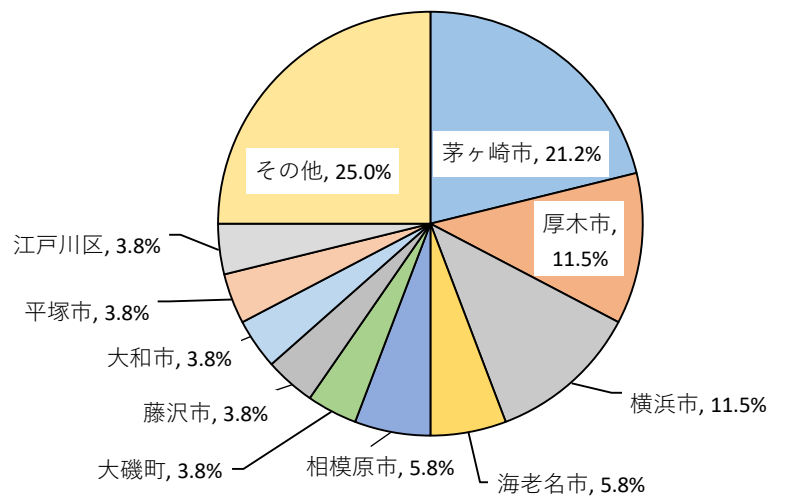
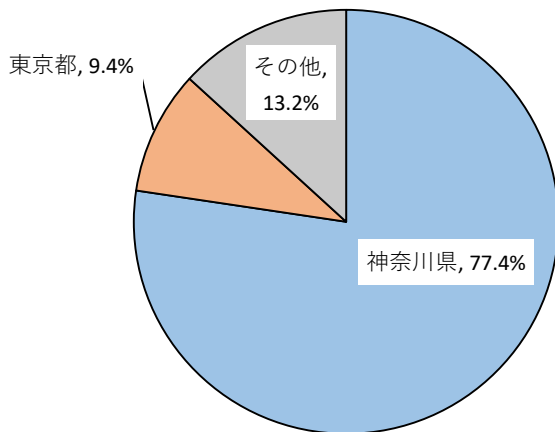
問 1 2. 転入後の住まいについて、あてはまるものを一つ選んで下さい。



「賃貸（アパート・マンション）」と回答した人が 37.7 ポイントと最も多く、次いで「持ち家（一戸建て）」が 21.7 ポイント、「寮・社宅」が 14.5 ポイントと続いています。

(7) 転入以前の住所地

問 1 4. 今回、転入前に居住していた住所地を教えてください。



選択肢	回答数	割合
神奈川県	41	77.4%
東京都	5	9.4%
その他	7	13.2%

選択肢	回答数	割合
茅ヶ崎市	11	21.2%
厚木市	6	11.5%
横浜市	6	11.5%
海老名市	3	5.8%
相模原市	3	5.8%
大磯町	2	3.8%
藤沢市	2	3.8%
大和市	2	3.8%
平塚市	2	3.8%
江戸川区	2	3.8%
その他	13	25.0%

神奈川県と回答した人が 77.4 ポイントと最も多くなっています。

また、茅ヶ崎市が 21.2 ポイントと最も多く、次いで厚木市、横浜市が 11.5 ポイントと続いています。

(8) 前住居地の行政に対する意見

問 1 5. 前居住地の行政に対して不満だったことがありましたらご記入ください。

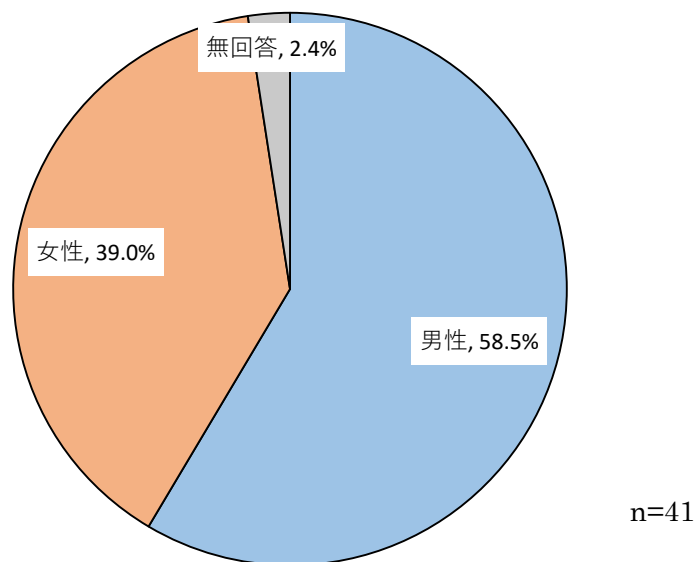
「自由意見一覧」

- ・ 治安が悪い
- ・ 通勤に不便
- ・ 道路状況が悪い
- ・ 店がなく買い物に不便
- ・ 資源ごみの回収日が不明瞭
- ・ (子供の) 医療費への補助が手厚くない
- ・ 検診してもらえない
- ・ コロナの対応がかなり悪い

回答者（転出者）の属性

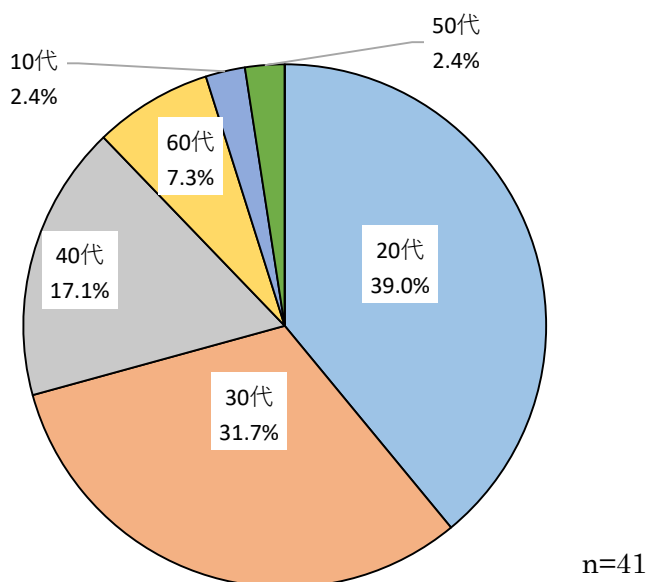
F1.性別

性別でみると、「男性」が 58.5 ポイントで、「女性」が 39.0 ポイントです。



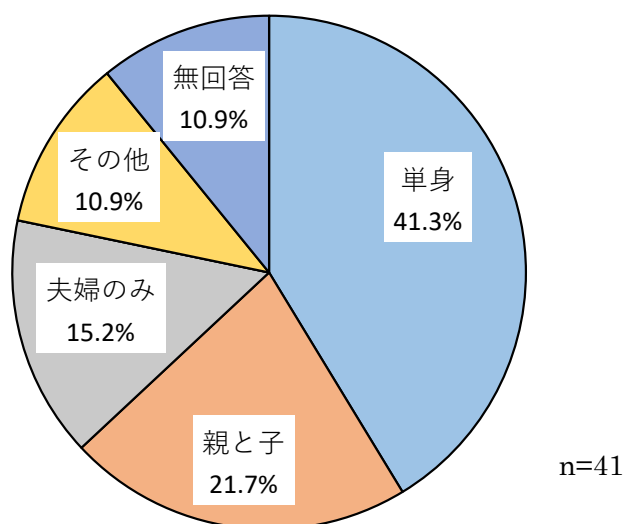
F2.年齢

年齢別にみると、「20代」が 39.0 ポイントと最も多く、次いで「30代」が 31.7 ポイント、「40代」が 17.1 ポイントと続いています。



F3.家族構成

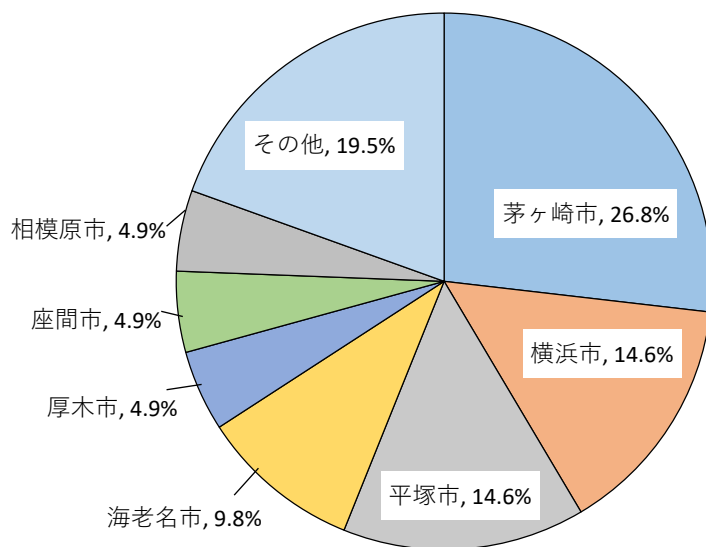
家族構成別にみると、「単身」が 41.3 ポイントと最も多く、次いで「親と子」が 21.7 ポイント、「夫婦のみ」が 15.2 ポイントと続いています。



調査結果

(1) 転出先の居住地域

問1. 今回、どちらに転出するか教えてください

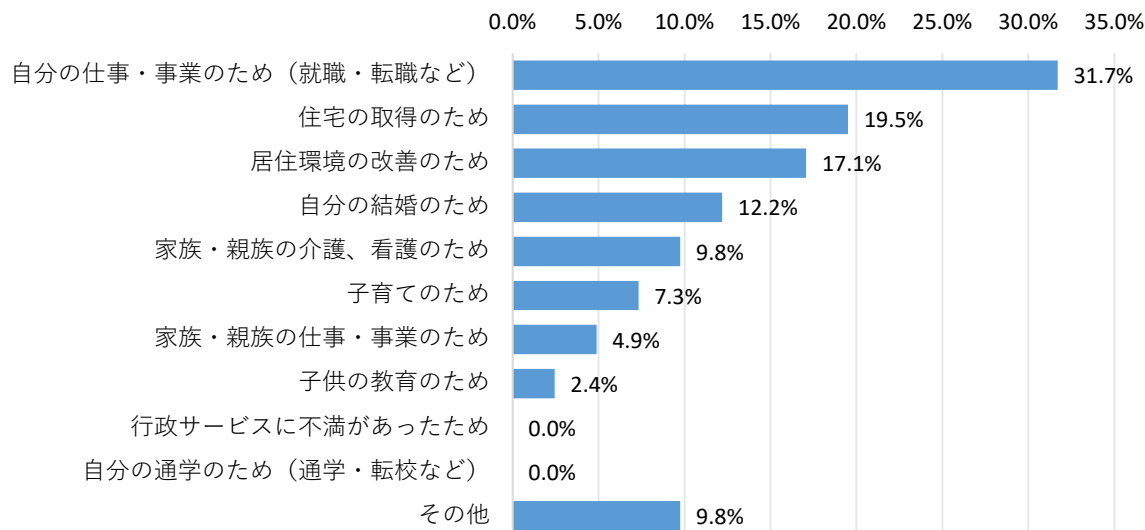


市区町村		
選択肢	回答数	割合
茅ヶ崎市	11	26.8%
横浜市	6	14.6%
平塚市	6	14.6%
海老名市	4	9.8%
厚木市	2	4.9%
座間市	2	4.9%
相模原市	2	4.9%
藤沢市	1	2.4%
横須賀市	1	2.4%
品川区	1	2.4%
浜松市	1	2.4%
伊東市	1	2.4%
宇都宮市	1	2.4%
田村市	1	2.4%
中之条町	1	2.4%
回答者数	41	100.0%

「茅ヶ崎市」が 26.8 ポイント、続いて「横浜市」「平塚市」が 14.6 ポイントでした。

(2) 寒川町からの転出理由

問2. 寒川町を転出される理由を教えてください（3つまで複数回答可）

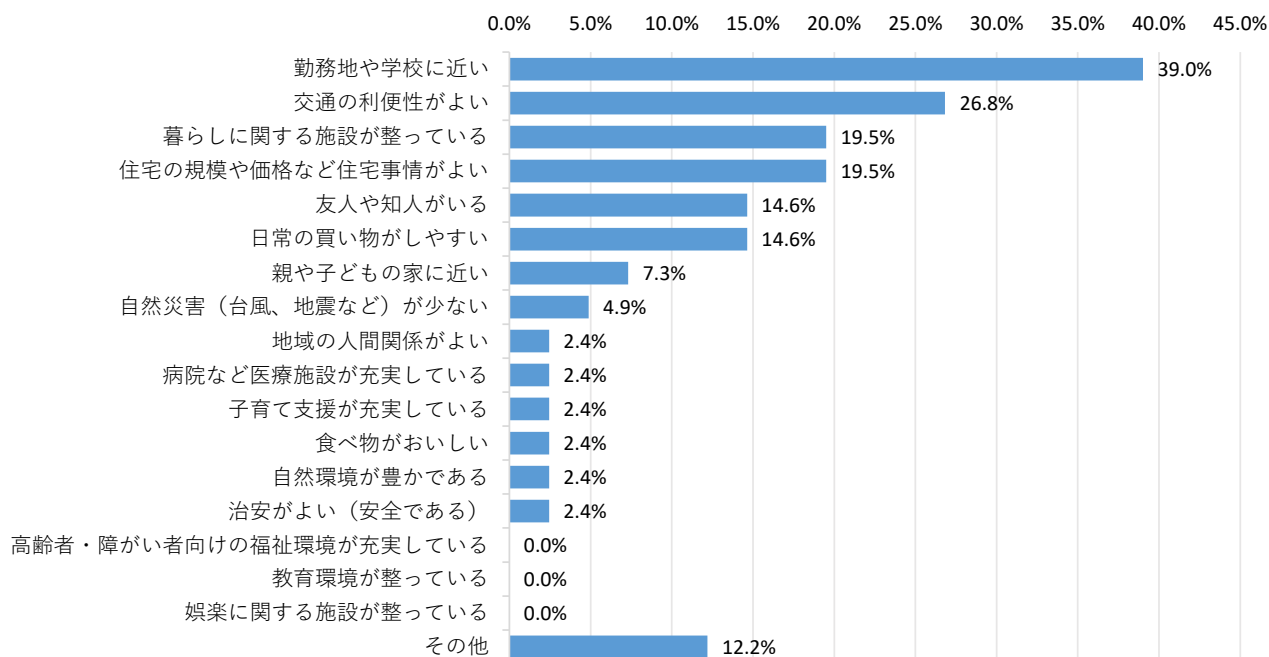


選択肢	回答数	割合
自分の通学のため（通学・転校など）	0	0.0%
自分の仕事・事業のため（就職・転職など）	13	31.7%
自分の結婚のため	5	12.2%
家族・親族の仕事・事業のため	2	4.9%
子育てのため	3	7.3%
子供の教育のため	1	2.4%
家族・親族の介護、看護のため	4	9.8%
住宅の取得のため	8	19.5%
居住環境の改善のため	7	17.1%
行政サービスに不満があったため	0	0.0%
その他	4	9.8%
無回答	0	0.0%
回答者数	41	100.0%

「自分の仕事・事業のため（就職・転職など）」と回答した人が 31.7 ポイントと最も多く、次いで「住宅の取得のため」が 19.5 ポイント、「居住環境の改善のため」が 17.1 ポイントと続いています。

(3) 転出の際の優先事項

問3. 転出先を決める際に優先した事項は次のどれですか。(3つまで複数回答可)



選択肢	回答数	割合
自然災害（台風、地震など）が少ない	2	4.9%
治安がよい（安全である）	1	2.4%
自然環境が豊かである	1	2.4%
食べ物がおいしい	1	2.4%
住宅の規模や価格など住宅事情がよい	8	19.5%
勤務地や学校に近い	16	39.0%
交通の利便性がよい	11	26.8%
日常の買い物がしやすい	6	14.6%
暮らしに関する施設が整っている	8	19.5%
娯楽に関する施設が整っている	0	0.0%
子育て支援が充実している	1	2.4%
教育環境が整っている	0	0.0%
高齢者・障がい者向けの福祉環境が充実している	0	0.0%
病院など医療施設が充実している	1	2.4%
地域の人間関係がよい	1	2.4%
親や子どもの家に近い	3	7.3%
友人や知人がいる	6	14.6%
その他	5	12.2%
無回答	1	2.4%
回答者数	41	100.0%

「勤務地や学校に近い」と回答した人が39.0ポイントと最も多く、次いで「交通の利便性がよい」が26.8ポイント、「暮らしに関する施設が整っている」「住宅の規模や価格など住宅事情が良い」が19.5ポイントと続いています。